

中学生のメッセージ2025

第47回 少年の主張 三重県大会



デザイン画 最優秀賞：羽ばたけ！個性！ 朝日町立朝日中学校 3年 廣谷 咲那さん

 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団
三泗地区中学生のメッセージ実行委員会
三重県・三重県青少年育成市町民会議連合会
独立行政法人国立青少年教育振興機構

はじめに

中学生のメッセージ(少年の主張三重県大会)は、昭和54年の国際児童年を契機として始まり、中学生の皆さんが日常生活の中で日頃考え、感じていることなどを広く社会に発信する場として回を重ねてまいりました。

47回目となった本年度は、県内76の中学校から11,750点にのぼる作文の応募がありました。このようにたくさんの中学生の皆さんが関心を持ち、参加をくださったことを大変嬉しく思います。

これもひとえに各中学校や青少年育成市町民会議等の皆様の多大なご協力の賜物と感謝申し上げます。

今年度の三重県大会は、令和7年8月23日、川越町あいあいホールでの開催となりました。今回も寄せられた作品から一人ひとりの考えや思いを受け取ることができました。中学生の皆さんが、その主張を作品としてまとめる中で自分の思いと改めて向き合ったり、新たな発見をしながら考えを深めたり、さらには友人や家族と話し合ったりした体験は、本当に大切なものになったと思います。

今回もそのたくさんの中学生の思いを代表して、14名の皆さんに発表を行っていただき、仲間や身近な大人、社会に向けて発信していただくことができました。

令和5年度に施行された「こども基本法」には、基本理念として「子どもの意見の尊重」が謳われ、その後の「こども大綱」では子どもたちが意見を表明しやすい環境づくりが基本方針の一つとなっています。これから社会全体でそうしたことでの理解を深めながら、同時に、子どもたちの発信する勇気も育てていければと思いを強くしたところです。

併せて、司会、受付など大会全体の運営を主体となって行っていただいた三泗地区の中学生の明るい笑顔と優しい気持ちは、来場された皆さまに届き、たくさんの感謝の声をいただきましたし、同じく四日市市立羽津中学校音楽部による合唱の実践発表のフレッシュで美しい歌声に会場内は感動に包まれ、大きな拍手が寄せられるなど素晴らしい大会になりました。

本報告集は、県大会受賞者14名の主張と全国大会内閣総理大臣賞受賞者の主張を収録したものです。ご覧いただいた皆さまには、中学生の思いや考えに一層の関心を持っていただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、実行委員会としてご尽力いただきました三泗地区青少年育成市町民会議をはじめ、多くの皆さまのご支援・ご協力に改めて厚くお礼を申し上げます。

今後も、「中学生のメッセージ」が、中学生の皆さんにとって輝ける思い出となるよう、地域の皆さまと共によりよい取組にしていきたいと思います。

引き続き、皆さまのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和8年1月

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団
理事長 中山 恵里子

中学生のメッセージ 2025

(令和7年8月23日 川越町あいあいホール)



発表者と審査委員の皆さん



運営協力していただいた中学生の皆さん

目次

はじめに

◆大会発表作品

最優秀賞

家族で乗り越えた半年間 名張市立桔梗が丘中学校 2年 竹下 葵 …… 1

優秀賞

一步踏み出して 鈴鹿中等教育学校 2年 内田 英惺 …… 3

愛情の反対 鈴鹿市立大木中学校 2年 橋本 悠 …… 5

令和の米騒動から考える 菰野町立八風中学校 3年 松永 結斗 …… 7

優良賞

僕の防災意識 菰野町立八風中学校 2年 亀島 琉桜 …… 9

今を大切に 朝日町立朝日中学校 3年 川口 佐奈 …… 11

コロナ禍で抱いた感情 伊勢市立二見中学校 3年 鈴木 寧々 …… 13

私が輝ける場所 津市立香海中学校 1年 玉木 心結 …… 15

性別はプラスアルファ 松阪市立殿町中学校 2年 寺島 花 …… 17

難聴児について 木曾岬町立木曾岬中学校 2年 中村 宗太 …… 19

勝手なイメージで決めつけないで 松阪市立鎌田中学校 3年 中村 暖希 …… 21

私を動かす大切な言葉 名張市立名張中学校 3年 西岡 花佳 …… 23

「いい子だね」って言わないで 名張市立北中学校 3年 西口真由季 …… 25

「先入観による差別」 御浜町立御浜中学校 2年 南 凜 …… 27

◆審査委員の講評…………… 29

◆大会概要

1 応募の状況…………… 35

2 地域優秀賞受賞者一覧…………… 37

3 学校奨励賞受賞校一覧…………… 39

4 デザイン画受賞者一覧…………… 40

◆大会メモリアル…………… 41

◆中学生への応援メッセージ…………… 45

◆協賛企業・団体紹介…………… 47

◆参考資料

1 中学生のメッセージ2025 (第47回少年の主張三重県大会) 作文募集要項…………… 49

2 令和7年度内閣総理大臣賞の紹介 (第47回少年の主張全国大会 ～わたしの主張2025～) …… 53

※大会発表者の作品は、誤字・脱字以外は原文のまま掲載しました。



最優秀賞 家族で乗り越えた半年間

名張市立桔梗が丘中学校 2年

竹下 葵

二〇二四年六月。梅雨も終わりに差しかかり、私達の学校では期末テストが行われていた日でした。休み時間、友達と話していた時、急に担任の先生に、「お父さんとお母さん、病院に行くみたい。」と告げられ、家の鍵を渡されました。私は、少し不安に思いつつ、その日はテストを終えました。帰宅すると家にはその日、父が職場で食べるはずだったお弁当と一通の手紙が残されていました。手紙には、「お昼準備する時間無かったから、そのお弁当食べてね。」と書かれていて、つのる不安を抑えながら、両親の帰りを待ちました。それから数時間後、両親が帰宅した時、二人の顔が心なしか暗い気がして、「パパ、大丈夫なの。」と聞きました。沈黙の後、母が「パパ、肺に影があるみたい。でも、今行った病院じゃ詳しく検査できないみたいだから、他県の病院に行くことになった。」と告げました。私は頭が真っ白になりました。

それから数日後、学校から帰宅し普段より少し重く感じる扉を開けると、母は泣いていました。母に現状、肺癌のリスクが高いと言われ、肺癌なら末期だと言われ、その日の夕方に癌細胞に針を刺して何の癌か検査したそうでした。祈りの一週間を過ごし、父方の親族一同が病院に集まって医師から確定した病名を告げられました。病名は、縦隔原発セミノーマ、ステージ三。医師からは、「肺にできるのは十万人に一人の確率で、十センチ以上のため手術は難しいですが、抗癌剤がよく効く癌だから明日から頑張ってください。」と言われました。初めは末期かもしれないと言われていた癌が治ると診断されたことで、私達に希望の光が見えたのです。

ロビーのいすに座っていると、先生が近づいてきて、「パパ、絶対大丈夫。結果出るまで不安だったね。絶対治るよ。」と声をかけてくれました。私は、胸に張りつめていた糸が切れ、気づけば涙があふれていました。私達家族は抱きしめ合い、私と母の二人で、その日は病院を後にしました。それからは、父の闘病生活の始まりです。治療は、抗癌剤を七時間の五日間コース。それが終わると数日間退院というのを四回くりかえします。治療が始まってから父は、髪が抜け、体重が四十八キロまで落ち、歩く

★ 部活動や学校外活動	茶道部・園芸部
★ 好きな科目	社会・国語
★ 好きなことや好きなもの	読書・アニメ鑑賞
★ 将来の夢	医療事務

ことすままならない状態になっていきました。私はそんな父を見て、父はこんなにも闘っているのに何もできない無力な自分が悔しくて、ふがいない気持ちでいっぱいでした。毎晩、悔しさのあまり涙を流しました。そんな私を支えてくれたのは友人達の存在です。友人Yちゃんは、南海トラフ臨時情報が出された時

「お父さんの事で頭がいっぱいかもだけど、水、スーパーから消えていってるよ。」

と教えてくれました。友人Jちゃんは、千羽鶴を作って手紙と一緒に渡してくれました。その千羽鶴は今でも再発しないことを願い、寝室に飾ってあります。友人Tちゃんとそのお母さんは、雨の日にお母さん大変だろうからと学校へ送迎してくれました。他にもたくさんの人達に支えていただき、私達は様々な人の温もりに触れることができました。その一つ一つに感謝して生きていきたいです。

そうして、月日は流れ九月。七月から始まった抗癌剤治療が無事終了しました。さらに、六週間後ついに、ペットCTの結果、当初十センチ以上あった腫瘍がゴミくず程度の大きさまで縮み、再発予防として十五回の放射線治療を終え、ついに十二月。全ての治療が終了しました。

この半年間、絶望から始まり少しずつ希望へと歩みを進める中で、たくさんの涙を流しそのたびにたくさんの人に支えられました。もちろん、その中には治療にたえながらも、いつも私の頭をなでてくれた父の姿や、一緒に隣で涙を流してくれた母の存在もあります。私はこの決して良いとは言えない辛い経験の中で、家族と居られるあたり前の日常の素晴らしさを知りました。

パパ、元気になってくれて本当にありがとう。





優秀賞 一歩踏み出して

鈴鹿中等教育学校 2年

内田 英惺

僕は今、学校に行くのがとても楽しいです。友達と話したり、一緒に笑ったりするかけがえのない時間がとても楽しくて心地良いです。そして、勉強にも前向きに取り組めるようになったし部活もみんなと楽しく切磋琢磨しながら頑張っています。

そんな充実した日々を過ごせている僕ですが、実は最近まで、大きな不安と悩みを抱えていました。

僕はこの中学二年生になってから、補聴器を付け始めました。小学生の頃から、「みんなより耳が聞こえにくいのかもかもしれない」と感じていましたが、そのことを口に出すことにためらいがあり、周りに話せずにいました。周りの目や反応が気になるし、「友達に変だと思われるかもしれない」「からかわれるかもしれない」そんな不安が僕の気持ちを押しさえつけていたのです。

中学校に入学した頃、両親とは補聴器をつけようかと話し合っていました。授業の内容が難しいし、重要なポイントを授業内で言われることも多かったからです。それに、先生の話すスピードも速く感じ、聞き逃すことがだんだん増えていると実感したからです。「今、なんて言ったんだろう」と考えているうちに授業が進んでいってしまいます。普段の会話でも友達が笑っている時に、何が面白かったのかが分からず、一緒に笑えない時もありました。また、声をかけられても気付かず、返事ができなかった時には「無視された」と思われることもありました。先生の指示が聞き取れず、違う行動をとってしまった時には注意を受けたこともありました。その度に、「聞こえていなかっただけなのに」と言いたくても言えずとてももどかしかったです。

そして、このままではいけないと、僕は思い切って「やっぱり補聴器がほしい」と両親に伝えました。先生も僕が補聴器を考えていることに対して「この学年にはからかうような子はいないと思うよ」と言ってくれたり、学校生活上で教室の席の場所や授業の音量を配慮していただきました。それに、「目が見えにくい人がメガネを掛けるように、耳が聞こえにくい人が補聴器を使うのは当たり前のことなんだよ」と話してくれた両親の言葉に僕はとても勇気付けられました。

それから僕は、自分の中にずっとあったためらいと向き合い、「このままではダメだ、聞こえにくいと勉強や生活に支障があるから補聴器をつけてみよう」と決意しました。

初めて補聴器を付けて登校した日の朝、僕はとても緊張していました。「誰かからいじめられたらどうしよう」などと不安と緊張でとてもドキドキしていました。

でも、そんな僕の不安はすぐに消えました。それは、僕の周りにいる友達のおかげです。僕の補

★ 部活動や学校外活動	硬式テニス部
★ 好きな科目	数学・英語
★ 好きなことや好きなもの	映画鑑賞・音楽鑑賞・テニス
★ 将来の夢	弁護士

聴器をつけた姿を見て驚くこともなく、「補聴器付けたんだね。どんな感じなの?」と自然に声をかけてくれたのです。誰もからかったり、いじってきたり距離を置いたりすることはありませんでした。その瞬間「思い切って付けて良かった」「大丈夫だったんだ」と安心し、理解ある友達に感謝するとともに胸が熱くなりました。

補聴器を付けるようになってから、先生の話も友達の声も、はっきり聞こえるようになりました。授業にも集中できるようになり、授業が楽しいと思えることも増えました。そして何より、聞こえることの喜び、周りの人ときちんとコミュニケーションがとれて繋がれている安心感が僕の心を強く、そして充実した生活にしてくれました。

補聴器は、ただ音を届けてくれる道具ではありません。自分らしく生きる勇気をくれた、僕にとって大切な存在です。そして、僕を理解し、変わらずに受け入れてくれた友達や先生方、家族の温かさにとっても感謝しています。

これから先、また周りの目が気になったり嫌なことを言われることがあったとしても、僕は堂々と対処できる自信があります。自分のことを分かってくれる、心から応援してくれる、何より今の僕を受け入れてくれる人たちがいる、そう思うだけでどんなことにも立ち向かっていけるような気がします。

僕は今、自分らしい自分でいられています。だから、これからも堂々と顔を上げてこの中高生活を思いっきり楽しんでいきたいです。





優秀賞 愛情の反対

鈴鹿市立大木中学校 2年

橋本 悠

私が小学校を卒業する六年生のとき、私の一つ下の学年、五年生に「問題児」と呼ばれる女の子が一人いた。その子は先生でも手をつけられなかったため、ある先生がこう言った。「その子のことは無視すればいい」と。その言葉を聞いたときの私は、先生の言うことは正しいのだから従おうと思った。

私は卒業式でピアノの伴奏を弾かせてもらうため、休み時間、友達とピアノの練習をしていた。すると、気づけば私の隣には「問題児」と呼ばれるある女の子がいた。私のクラスでは、その問題児はすぐ人を殴る、すぐ暴言を吐くなどの噂が広がっていたため、私は恐ろしくてものすごく震えていた。その瞬間、先生の「無視」という言葉が私の頭と心を駆け回っていた。そんな女の子は突然、こう言った。「お姉さんピアノ弾けるの?かっこいいね。」と。その言葉には愛情や関心の気持ちが乗っていた。だから私は、なぜこの子が無視をされる存在にならないといけなのだろうと思った。そして私は先生の言葉に大きな違和感と小さな怒りを抱き、女の子と仲良くなりたいと思った。

それから何週間も経ち、私は卒業する日を迎えた。卒業するまでの間、私は極稀にその女の子と遊んだりした。しかし、自分の中で、彼女にまだ愛情や関心の気持ちを伝えきれていないという思いが強かった。だから私は彼女に一つの手紙を渡した。「私に興味や愛情の思いを持って声を掛けてくれてありがとう。あなたはそういうことができる力を持っているから、沢山の人もしてほしい。関心を持って接した分、相手も関心を持って接してくれるから。」その言葉を私は彼女に告げて小学校を卒業した。

卒業してから数日経ったある雨の日。家のインターホンが鳴ったため、私は傘を持って外に出た。すると家の門の向こうには、何かを抱えた子供がいる。誰だろうと思って近づくと、そこにはあの「女の子」がいた。あるものを渡したい、そして会いたいということで、来てくれたようだ。すると彼女は抱えていた紙袋を私に渡して、帰っていった。紙袋には、たくさんの飴と折り紙、そして一枚の手紙が入っていた。「一緒に遊んでくれてありがとう。」その一文を読んだとき、私には微笑みと小さな涙が零れた。そして、この子はきっと大丈夫だろうと確信した。

この経験から私は三つのことを学んだ。まず最初に先生の言うことが全て正しいとは限らないこと。自分が先生の発言や行動に明らかにおかしいという違和感を感じたら、その思い、感覚を大切に直感に従った行動をしたいと思った。

次に、小さな決意は大きな行動力になるということ。自分が「あの子」と仲良くなりたいという小

★ 部活動や学校外活動	吹奏楽部
★ 好きな科目	数学・理科
★ 好きなことや好きなもの	ピアノを弾くこと・音楽を聴くこと
★ 将来の夢	決まっていない

さな決意がやがて大きな行動力になった。そして、彼女を変えられる力になったように私が今、抱いているいじめに対する「なくしたい」という思いも、やがて大きな行動力になってなくすことができると信じている。

三つ目は何があっても存在を無視することは絶対に許してはいけないということ。

どんな人にも関心を持って行動する、それが今後の人間関係で一番大切にしたいことだ。

これからの私は、どんな人にも、無関心の反対、愛情と興味を持って接していくことを心がけたい。





優秀賞

令和の米騒動から考える

菰野町立八風中学校 3年

松永 結斗

突然ですが、みなさんは一週間に何回米を食べますか。米は日本の主食といわれていますが、食文化の多様化で一週間に数回しか米を食べない人もいるかもしれません。また、最近テレビや新聞で取り上げられているような「令和の米騒動」が起こっています。米の流通量減少と価格高騰の影響により、米が手に入りづらくなっています。私も実際にスーパーの米売り場から米が消えているのを何度か目にしました。しかし、兼業農家である私の家では、毎日自分の家で作った米を食べるのが当たり前だったので「うちには米があるから価格が高くなっても困らないからよかった」という程度にしか思っていませんでした。

しかし、「令和の米騒動」のニュースを見ていた父が一言、「今、米が高い高いって言われとるけれど、この値段でようやく元が取れるくらいやで、結局また米の値段下がったら赤字になるな」

とつぶやいたのを聞いて、私ははっとしました。これまでの私は米の値段について深く考えたことがなかったからです。そこで改めて父の作業を思い出し、米が出荷できるようになるまでにどのくらいの手間や経費が必要かを考えてみました。

米作りというと、田植えや稲刈りのイメージがあると思いますが、実際の米作りはそれだけではありません。例えば、田植えをする前には数回田んぼを耕し、水が漏れないよう畦を整えます。田植えのあとも、水加減を調整したり、農薬を撒いたりするなど、さまざまな工程を経て米ができあがります。私は中学校に入ってから父の農作業の手伝いをするようになりましたが、手伝うのは田植えや稲刈りなど、ほんの一部の作業だけです。他の作業はすべて父一人で行っており、兼業農家なので別の仕事もしながら、一年中農作業をする父はとても大変だろうと思っています。また、本来ならば米作りには多くの人手が必要ですが、核家族化が進んでいるので、私の家も家族三人で作業をするしかありません。田植えや稲刈りなど大掛かりな作業には、専用の機械が必要になります。専用の機械を動かすためには燃料も必要です。他にも、苗や稲を育てるために除草剤や農薬、肥料を買う必要があります。その結果、できた米を出荷しても、米の買値が安いと赤字になってしまうのです。

私は自分の家で作っている米が大好きです。たまに外食で米を食べることもありますが、お店の米を食べると、家の米がより一層おいしく感じられます。しかし、そんなおいしい米を作っている父ですが、私にいつも「赤字やし大変やで、お前は米作りをやめてもええんやでな」と言います。私

★ 部活動や学校外活動	総合文化部
★ 好きな科目	社会
★ 好きなことや好きなもの	絵を描くこと
★ 将来の夢	地域に貢献できる仕事に就きたいです

はなぜ父が大変な思いをしてでも農業を続けているか気になり訊いてみました。すると父は、「簡単に言うと自分の子や孫が、将来食べ物に困らんようにや。」

と答えました。父も子どもの頃、私の祖父から同じような言葉を聞いたそうです。そして太平洋戦争の頃に食糧不足になっても、自分の家で米を作っていたために困らなかったこと、そのため、先祖代々土地を守っているのだということを今回初めて知りました。

私は今回の「令和の米騒動」をきっかけにして、みなさんに米作りの現状を知ってもらいたいと、米農家の一人として強く感じています。現在、日本の農家のうち、八割以上の農家が小規模農家だと言われています。しかし、作付面積は大規模農家が七割を占め、小規模農家が使用している面積はたったの三割だそうです。もう大規模農家に任せて、小規模農家は辞めてしまえばよいのではないかという意見もあると思います。しかし、私は小規模農家の人たちが、私の家のように先祖代々思いを繋げながら日本の米作りを支えてきたと思うのです。「令和の米騒動」を「米が高かったな」で終わるのではなく、米を食べるときには米作りを頑張った人たちのことを思い出し、少しでも米について関心をもってもらえばいいなと思います。

私は将来、何をしたいのかははっきりとは決めていませんが、私は祖父や父が繋げてきた先祖代々の思いを繋げられるように努力したいと思っています。





優良賞 僕の防災意識

菰野町立八風中学校 2年

亀島 琉桜

みなさんの家には、防災バッグなどのように非常時にすぐ持ち出せるものはありますか。僕の家
の玄関には防災バッグが置いてあります。なぜ玄関にあるかというと、災害が発生したときにすぐ
持ち出すことができるからです。僕の家防災バックには、水、食料、懐中電灯など、避難生活に
必要なさまざまなものが入っています。僕の家防災バックを置くようになったのには、理由があ
ります。

まずは、自分の命や自分の周りの人の命を救うことができるからです。防災と言っても災害はい
つ起きるかわからないものなので、防ぎようがありません。でも、日常から対策しておくことで、被
害を最小限に抑えることが可能です。例えば地震が起きて、地震からは生き延びたとしても、その
あとの避難生活で食料や水がなければ、生活することができません。せっかく生き延びたのに、
避難場所で亡くなってしまう可能性があります。僕は被害を最小限に抑えるために、日常から防災
バックを準備するようになりました。

次に大きな地震に備えるためです。僕たちが大人になるまでに南海トラフ地震という大きな地震
が起こるといわれています。その地震の規模は最大震度七、マグニチュード九以上と予想されてお
り、三重県も最大震度七と予想されています。また、二〇一一年三月十一日には、東日本大震災
という大きな地震が発生しました。僕はまだ生まれていませんでしたが、東北地方で大きく揺れ、
津波の被害が大きかったと聞いています。地震以外にも津波や台風、土砂崩れ、大雪など、自然
災害にはいろいろなものがあります。これをすべて完全に防ぐことは難しいけれど、対策したいと
思っています。

最後に、自然災害で怖い経験をしたからです。僕が今まで経験した中で一番怖かったのは台風
です。その当時、僕はまだ小学校二年生で、家族で夕飯を食べていました。突然、二階から大きな
音がして僕はびっくりしました。家族と二階へ確認しに行ったところ、窓ガラスが割れていました。
雨が激しく降っていて、割れた窓ガラスからたくさんの雨水が吹き込んでおり、片付けが大変だっ
た覚えがあります。このような経験から、非常時に備えて普段から準備をすることが大切だと考え
るようになりました。

僕はこの作文を書きながら、改めて防災意識が高まりました。そして三つのことを実践しました。
一つ目は、避難場所を決めたり、避難する経路を家族で話し合ったりしたことです。例えば、家族
がばらばらの場所にいるときに災害が起きたら、みんな一緒に避難することができないので、話し

★ 部活動や学校外活動	卓球部（部活動）・硬式野球部所属（学校外活動）
★ 好きな科目	保健体育
★ 好きなことや好きなもの	野球
★ 将来の夢	スポーツ関係の仕事をしたい

合うことにしました。特に避難するときは道にブロック塀や大きな川、古びた道路など危険な場所はないかを確認し、素早く避難できるように考えました。古びた道路は大雨や地震で地割れが起き、通れなくなる可能性があるので、危険な場所としてチェックしました。二つ目は、日ごろからニュースをよく見るようにすることです。今日、明日の天気をしっかり見ておくことで、例えばどんな災害が起きそうなのかを予想することができます。そうすると、避難するときに必要なものがわかります。必要なものを防災バックに入れておけば、すぐに対応することができます。三つ目は、いつも冷静でいることです。僕は突然起こったことに対してあわててしまうことが多いです。そうすると周りを見て判断することもできなくなります。あわてずに、周りをよく見て判断することで、冷静な行動ができると思います。冷静な行動ができれば、避難場所でも周りの人と助け合いながら生活できます。

これから僕は、日常生活でも防災意識をもって生活したいです。意識をもつだけでなく行動にも移りたいです。例えば、周りの人に普段から声をかけるようにすることや、助けを求めている人がいればすぐ確認に行くようにすることなどです。自然災害はいつ起こるかわかりません。だから、いつ災害が起きてもいいように生活していこうと思います。そして自分のためだけでなく、周りの人のために行動できるような大人になりたいです。そのためにも防災を意識しながら生きていきます。





優良賞 今を大切に

朝日町立朝日中学校 3年

川口 佐奈

みなさんにとってスマホとはどのような存在ですか。自分にとってなくてはならないものですか。スマホを開くと、そこには動画サイトやSNS、ゲームなど、たくさんの情報やエンターテインメントの世界であふれかえっています。しかし、そのスマホによって世の中がどんどん変わってきているのではないかと私はひしひしと感じています。

まず、私が外出した時に驚いたことは、電車の中や飲食店の中で、ほとんどの人がスマホを見てうつむいている事です。また、友人や家族といる時も、スマホばかり見て会話が少なく、小さな子どもが、騒がないようにするために、親が動画を見せている時にはとても驚きました。私には、これらの光景がどこか異様に感じられました。

なぜ私がこのように感じるのかというと、私はスマホを持っていないため、外食をする時は、家族や友人と会話をし、何かの待ち時間には、周りの景色を眺めたり、考え事をしたり、本を読んでいるからです。しかし、スマホを持っていないからといって、スマホを否定している訳ではありません。なぜなら、私は何か調べたい時などには、母のスマホを借りて調べることがあり、スマホを使えば、簡単に情報を得られるという便利さや楽しさを知っているからです。

スマホを使うと新しい情報が次々に目に飛び込んできます。スマホだけで何でも知ることができるという感覚になり、あっという間に時間が過ぎてしまいます。スマホは自分が調べたいことがすぐに調べられたり、自分の興味のある情報にあふれていて、魅力的な世界です。しかし、このままではスマホに支配されて自分の力で何かを調べようという意欲がわかなくなり、人との対話も少なくなってしまうのではないのでしょうか。そして、スマホを片時も離せないという状態になってしまうのではないのでしょうか。私はこれらのことがとても恐ろしいと感じました。

最近、「スマホ依存」という言葉をテレビや新聞でよく目にします。では、なぜスマホを使うとやめられなくなってしまうのでしょうか。テレビ番組で「スマホ依存」という特集を見た時に、一日に十五時間もスマホを使っている中学生がいました。その子は、スマホの使いすぎによって睡眠不足になり、集中力も下がってしまい、常にスマホが自分の手元にないと落ち着かなくなるという症状が出ていました。やめられなくなる原因は、スマホを使うと脳の中で快楽物質であるドーパミンが放出されることだそうです。

また、脳科学者で東北大学の川島隆太教授は、子どもたちのスマホ依存が脳に悪影響を与えると警鐘を鳴らしています。川島教授の著書にはスマホ利用のリスクが書かれていて、ネット漬けの

★ 部活動や学校外活動	マルチチャレンジ部
★ 好きな科目	英語・音楽
★ 好きなことや好きなもの	読書・ピアノを弾くこと
★ 将来の夢	客室乗務員

子どもほど、前頭前野を中心とする脳が発達していないことが分かったそうです。前頭前野とは、考える、やる気を出す、感情をコントロールする、記憶するなど、人間にとって重要な働きを担っている脳の場所です。その機能が衰えてしまうと、感情のコントロールができなくなったり、学習能力ややる気、集中力の低下などにつながります。

さらに、スマホを使えば簡単に調べたいことが見つかりますが、単語の意味をスマホで調べるのと辞書で調べるのとでは大きな差が出てしまうそうです。それは、覚えることに時間をかけたかどうかが重要になります。時間をかけるという事は、脳を働かせる事なので、記憶に残りやすく、楽をして調べた方は、脳が働かず、記憶に残りにくいそうです。その上、自分の力で調べた時の達成感も味わうことができなくなります。

スマホにはメリットもありますが、使い方によってはデメリットになる事もあるので、注意しなければなりません。一度スマホの世界からぬけだして、視野を広げてみる事が大切だと私は考えます。スマホ以外にも、読書や運動、人との対話など、様々なことを楽しんでほしいのです。また、趣味を広げ、新しい事に挑戦するのも良い事だと思います。私も将来スマホを持つ時がきたら、これらの事を忘れずに、大切な人と過ごす時間や趣味をスマホに奪われないようにしたいです。みなさんも有意義に使うことのできる自分の時間をスマホから取り戻してみませんか。





優良賞 コロナ禍で抱いた感情

伊勢市立二見中学校 3年

鈴木 寧々

二〇二〇年の冬を境に私達の生活は一変しました。世界中で新型コロナウイルス感染症が大流行し、未知の感染症への恐怖や感染拡大防止のため、学校へ登校せずリモート授業となったり、不要不急の外出は控えるようになり、手洗い、消毒、マスク着用が必須で、制限ばかりの生活となりました。

私の母は看護師をしていて、病院で働いています。そのため、県外への外出禁止、県外者との接触禁止、外食禁止、同居家族以外と食事をすることは控える等、病院から厳しい制限が設けられました。家族が感染したり、濃厚接触者になってしまうと、母は感染の恐れが無くなる潜伏期間終了まで毎日PCR検査で陰性を確認してから出勤していました。見解によっては出勤停止となることもあり、働く人数が減ると同僚に負担がかかるため、母はいつもピリピリしていました。絶対にコロナに感染してはいけないと常々懸念していたし、家は張り詰めた空気感で、私は友達と遊ぶことができなくなりました。学校のクラスメイトからコロナ陽性者が出た時、私が感染していたら母に移っている恐れがあるので、私が母の職場から呼ばれPCR検査を受けに行ったこともあります。患者さんに感染を広げることがないように検査を徹底し、病院は余念がなく慎重でした。

「医療従事者はコロナと近い位置に居るから近づくと感染するかもしれない」「医療従事者の子供とは遊ばせたくない」といった差別があることをテレビで知りました。街頭インタビューでは「自由がない」とか「どこにも行けなくて退屈」と不平不満を言っている人、緊急事態宣言が出ているにも関わらず「大丈夫でしょ」と旅行に行く人を見るのが嫌でした。人の命を守ろうとしている医療従事者がいないがしろにされたり、心ない扱いを受けているのが許せませんでした。皆我慢しているし、医療従事者とその家族はもっと制約された生活をしていることを知ってほしいと強く思いました。経済政策としてGO TO トラベルやGO TO イートの支援がありましたが、我が家では利用できるはずもなく、一部の人だけが楽しんでいる姿は本当にもどかしかったです。もし感染したら、病院のお世話になるのに、お構いなしに思い思いに過ごしている姿は納得いきませんでした。もやもやした気持ちと、制限ばかりの生活に終わりはくるか不安な気持ちで過ごしていました。

そして、中一の夏休み目前に私はコロナに感染してしまいました。「友達に移してないかな」「近づくと移るかもしれないと避けられたりしないかな」とコロナ差別が頭をよぎりました。隔離生活となり、一人きりで御飯を食べ、話し相手もない、お風呂は最終で入るという生活は孤独でした。そんな時、同級生から「大丈夫?」「早く寝たほうがいいよ」と心配してくれるメールがきました。休

★ 部活動や学校外活動	ソフトテニス部
★ 好きな科目	国語
★ 好きなことや好きなもの	習字・猫と遊ぶ
★ 将来の夢	東京ディズニーリゾートのキャスト

んだ日にあった大掃除では、友達が私の机も掃除してくれたそうです。出席停止期間を終え部活動で友達と喋った時の嬉しさ、人恋しさが解消された瞬間は今でも鮮明に覚えています。SNSやマスコミの情報が大多数の意見だと思い込んでいて、てっきり友達に距離を置かれたり、冷たくされるかもと偏見を持っていましたが、実際は真逆で、いつもと変わらず優しく接してくれました。

コロナは5類感染症となり、制限は少なくなりましたが、未だ終息していない新型コロナウイルスから身を守るため、医療従事者はプライベートでもマスクを欠かさない生活をしています。私達も他人に迷惑をかけないよう自分の行動を振り返り、ウイルスを正しく恐れ対処していけたらいいのになと思います。職種や立場によってそれぞれ考えや主張はありますが、知り得た情報を正しく選別し、お互いを思いあう心を持つこと、これがコロナ禍で学んだことです。





優良賞 私が輝ける場所

津市立香海中学校 1年

玉木 心結

私は自分自身が輝ける場所を持っています。それは、自分の個性を活かしてパフォーマンスをしている瞬間です。スポットライトとキラキラとした眼差しを浴びながら、これがどんなに誇らしいことなのか、今まで気づこうともしていませんでした。みなさんは自分自身が自分らしく輝ける場所がありますか？自分が努力したことを発表したりする場所、学校などで自分の個性を発揮したり自分らしくいられたりする場所などが私にはあります。私の輝ける場所は、ダンスを踊っている瞬間です。私はダンスを五年間習っています。私が通っているダンススタジオは、一年に一度発表会があり、地域の大きなイベントにも出演します。色々な所でたくさんの人達に、自分の魅力を伝えられる場所があるということは、とても幸せなことだと思います。

ダンススタジオのレッスンでは今、今年の発表会に向けて振付を進めています。ジャンルはヒップホップで、今年の曲は振付がとてもかっこいいです。私は、小さい頃から踊ることが好きで、特にヒップホップが大好きでした。私の踊ることとの出会いは、小学校一年生の時でした。お母さんが入っていたよさこいチームと一緒に踊り、とても楽しかったことがダンスに興味を持ったきっかけです。たくさんの観客の前でステージに立ち、踊りました。テレビにも映り、まるでアイドルみたいに輝き、楽しみながら踊ったことを今でも覚えています。中学生になって、部活や勉強などやらないといけないことが増え、今年はやさこいを踊ることは諦めました。でも、踊ることは好きだし、踊っている自分をたくさんの人に見てもらいたいのも好きなので、いつかまたよさこいチームで踊りたいと思っています。そして、よさこいを続けることを諦めた分、今年のダンスの発表会は今まで以上に頑張りたいと一段と気合いを入れています。ダンスでは、踊っている時に私がセンターポジションになる場面があります。センターが一番注目され、一番輝ける場所だと思います。そこに私が立つ時、「私が輝き、無敵になれる」そんな気がして、本番が楽しみで楽しみで仕方がなくなり、ついニヤけてしまいそうになります。自分が輝ける場所があるということは、私の毎日のモチベーションにもなっていて、毎日楽しく頑張ることができ、自分に自信がつかます。少し前までは、輝ける場所ってどんな所だろうと、無理やり分かっていました。でも、今では自分自身で実感できていることが、とても嬉しいです。

将来のことも考えるようになりました。小さい頃からの経験と、今まで習ってきた知識を活かした仕事に就きたいと思っています。その一つが、ディズニーランドのパレードダンサーです。パレードで踊りお客さんを盛り上げたり、笑顔にしたりするその姿は、とても楽しそうに輝いていて憧れ

★ 部活動や学校外活動	ソフトテニス部
★ 好きな科目	美術
★ 好きなことや好きなもの	読書
★ 将来の夢	まだ決まっていない

ます。自分のダンスや笑顔で、周りの人に元気や勇気を与えることができたらいいと思うので、私にとって素敵な職業だと思うものの一つです。みなさんには将来の夢はありますか？小さい頃から続けている習い事がある人、習い事の経験はないけれど得意なことがある人など、世の中には色々な人がいると思います。まずは、自分の好きなことは何か考えてみてはどうでしょうか。私達には無限の可能性が 있습니다。これまで経験してきたことや、その中で特に心を動かされてきたことを活かしてみませんか？「どうせ無理」「私なんて…」と諦めていたら面白くありません。諦めずにたくさんの可能性に飛びこみましょう。引かれたレールからはみ出したっていいと思います。自分が輝ける場所をつくることは、自分が歩むレールを自分自身で引くという、とても素敵なことです。初めからキラキラと輝けるかどうかは分からないけれど、少しずつ努力し続けることで自信がつき、やがてまぶしい輝きに変わるのだと思います。失敗するのは怖いな、間違えたら嫌だなと、時にはブレーキを踏んだ方がいいと私は思います。その方が、きっと後悔することが少ないはずで、これからも、私は自分が輝ける場所を大切に、自分らしく前に進んでいきたいです。





優良賞 性別はプラスアルファ

松阪市立殿町中学校 2年

寺島 花

「女の子なんやからお手伝いしなさい。」

そうおばあちゃんに言われた時はびっくりしました。そのときに私は、昔に生まれた人達にはまだ性別による思い込みがあったんだと実感してしまいました。

学校でLGBTQと同時に勉強した「性別による思いこみ」。少し前の日本なら、「男は青、女はピンク」だとか、「家事育児は女が行うもの」など、性別による無意識な思い込みをもつ人がほとんどの世の中でした。これらが強く根付いていたせいで、「決めつけられたり、押し付けられたりすることで、その人が自分らしく生きられなくなる」という問題がありました。

ですが現代はその頃とは大きく変わり、一人一人の個性を尊重し、性別による「当たり前」という言葉や、「こうしなければならない」という偏見がいけないことだということをたくさんの人が理解している社会になりました。

ここで問題になってくるのが高齢者の人たちの考え方です。もちろん全ての高齢者の人たちが先ほどの問題を理解していない訳ではありません。ですが、このような偏見がだめなことと知る機会が、学校での講演だったり、インターネットでの拡散が大きく影響していると考えられるため、学校に通う年齢じゃないし、SNSの利用率が低い高齢者の人たちは、このことについて考える機会が少ないのでしょう。

今話題にしている「無意識の思い込み・偏見」のことを「アンコンシャス・バイアス」といいます。このアンコンシャス・バイアスをなくしていくために、自分は何ができるのかな、と考えてみたけどなかなか思いつきません。なのでまずは自分の身近な人に正しい知識を伝え、それをどんどん広がっていきけるよう行動しようと思いました。

でもこの問題って高齢者だけなのか、と思い、若者に視点を変えてみました。もちろん制服がスカートやズボンを選べるようになったり、家事・育児・仕事などの分担具合も性別関係なくそれぞれの家庭できめるようになったりと、一見なくなったんじゃないかと思いました。だけど私は最近「男子はスカートあり？」というタイトルの動画を見ました。するとそこには、批判的なものや遠回しに馬鹿にするコメントがほとんどで、若者にも重要な問題なんだと知らされました。

よくSNSを見て思うのは、誰かひとりが批判的なコメントをかくと、その動画には批判的なコメントがあふれるというケースです。これは人間の「他の人に合わせないと。」という恐怖や、「この人もしてるんだし。」と他人のせいにすることから起こっているのかなと思います。

★ 部活動や学校外活動 学校外でダンス

★ 好きな科目 数学・社会

★ 好きなことや好きなもの ダンス・音楽鑑賞

★ 将来の夢 ダンサー

そこで私は、ならこれを逆に利用できるのでは、と考えました。一人が理解のある行動をすることで、他の人にもきっと広がっていくはずです。ならまず動くべきなのは自分です。日常の会話で性別は人を判断する材料にならないんだよとさりげなく伝えたり、自分自身が性別で決めつけた言動を発さないように心がけていけば、きっと誰かに伝わって、アンコンシャス・バイアスをなくす考えがもっと広がることをいのっています。そしていつか、性別はプラスアルファという考えであふれる世の中になってほしいなと思います。





優良賞 難聴児について

木曾岬町立木曾岬中学校 2年

中村 宗太

僕は両耳中度難聴児で、だいたい七十デシベルくらいの音が聞こえます。七十デシベルは、掃除機の稼働音くらいの大きさです。三歳半検診で見つかり、そこから検査をしてわかりました。検査の結果から、補聴器をつければ、三十デシベルくらいの聴力を持つことができることがわかりました。三十デシベルは鉛筆の筆記音くらいの音です。難聴児についても様々なケースがあり、僕の弟は右耳重度、左耳中度の難聴児です。人工内耳をつけている人もいます。しかし、補聴器をつけていても不便なことがいくつかあります。例えば、夏場は汗が補聴器に当たり、補聴器が錆びてしまって聞こえなくなってしまう。ほかにも風が強い日は風の音で周りの音がほとんど聞こえなくなってしまうし、マスクをつけている人だと口の動きが分かりにくく、視覚からは情報が得られなくなってしまう。弟の場合は右耳はほとんどの音が聞こえないので、右側から話しかけられたり、遠くから呼びかけられたりすると、どの方向から呼びかけられたかがわかりにくくなってしまいます。ほかにも左側に補聴器をつけているので、右側は聞こえると勘違いされてしまうことがあります。補聴器をしてみんなと同じように会話ができるからこそ理解されにくいことがあり、補聴器をつけたことがない人にはわかりにくいと思います。だからもっと難聴児について知ってもらえる機会が増えるといいなと思っています。そのためにも学校で難聴児について学んだり、補聴器を実際につけてみたりする機会をもう少し増やしてほしいと思っています。実際にそういった体験をした人からは「こんなにも雑音を拾ってしまうんだ。」や「こういった聞こえ方をしているんだ。」と言われ補聴器の大切さや難聴児の不便なところを知ってもらえることができました。もちろん僕が伝えられることや、こうしてくれると助かると思うことはみんなに伝えていきたいと思っています。

次に補聴器の補助についてです。三重県では軽中度難聴児を対象に補聴器購入費用の助成を行っています。補聴器購入費用の三分の一の援助が受けられます。自治体によっては難聴の度合いによって補助が出る場合があります。補助を受けられるのはとてもありがたいけれど補聴器の値段はとても高く、補助があってもなかなか手軽には買いにくいです。障害者手帳を持っていない人にももう少し補助がでると購入しやすくなって補聴器の普及につながっていくと思います。こうした補聴器の普及がどんどん広まっていけば学校生活や友達関係、家庭などで不便さを感じている人がもっと快適な暮らしができるようになっていく素晴らしい社会になると思います。

そして補助だけでなく、僕が難聴だとわかるきっかけになった三歳半検診や、心身発達センターでの言語訓練、地域の支援や、通級などの施設やサポートもとても大切だとわかりました。そこで、

★ 部活動や学校外活動	野球部
★ 好きな科目	社会
★ 好きなことや好きなもの	スポーツ観戦・読書
★ 将来の夢	マッサージの仕事

専門家の先生たちのアドバイスやサポートなど、様々な情報が得られることもとても大きな支えとなりました。なので、そういった施設がもっとたくさんあると便利だと思います。

最後に、この文を書いているあらためて困っている人を助けられる人になりたいと思いました。そのためには難聴だけでなく困っている人に気づくこと、そして声をかけることができるような人になっていきたいです。





優良賞
勝手なイメージで決めつけないで

松阪市立鎌田中学校 3年

中村 暖希

みなさんは、「母子家庭」という言葉を聞くとどんなイメージを抱きますか。可哀想、寂しい、不幸などマイナスなイメージを抱く人の方が多いのではないのでしょうか。実際にインターネットで「母子家庭」と検索すると「ひとり親 手当」や「母子家庭 支援」などの検索ワードが表示されます。母子家庭は父親のいない母親だけの家庭のことで、金銭的な援助や、子育ての支援が必要になる場合が多いため、両親がそろっている家庭に比べると、何かが不足しているように感じられることが多いのかもしれませんが。

私は小さい頃に両親が離婚し母子家庭で育ちました。小さい頃のことで父親については何一つ覚えていません。ですが、一般的なイメージとは正反対に母と二人で楽しく幸せに暮らしています。それでも、たまに私が母子家庭について話すと友達や知り合いから「頑張ってるね」や「なんかごめんね」などと言われることがあります。私には何がえらいのか、何に謝られているのかも分かりません。なぜなら、私は幸せだからです。私はケーキが苦手で、毎年母が誕生日にフルーツをつかってメロンアートやスイカアートなどを手作りしてくれて、私はそれが大好きです。他にもクリスマスにはピザやチキン、節分には恵方巻きや豆まき、バレンタインには一緒にチョコブラウニーやクッキーを手作ります。母は毎年私が楽しめるように行事にあったご飯やプランを考えてくれて、父がいないことで毎日が楽しくない、寂しいと思ったことは一度もありませんでした。もちろん、友達が「パパうざい」「ママに内緒でパパからお小遣いもらってきた」などと言っていたら笑って会話しながら内心ちょっとうらやましいなと思ったりすることもあります。でも、だからといって自分が可哀想や不幸だと思うことはありません。むしろ、とても幸せ者だと思っています。

それでも私が可哀想だと言われるのは、母子家庭へのイメージからだと思います。世間が母子家庭にマイナスなイメージを抱くのは、「両親がそろっているのが普通で、片親は可哀想。」と決めつけてしまっているからです。二〇十五年の調査結果によると日本には一般世帯が約五千三百万世帯、母子世帯が約七十五万世帯(一・四二パーセント)いるとされています。もし本当に母子家庭が可哀想なのだとしたらここまで母子世帯は多くないと思いませんか。実際、私も自分が母子家庭だということはあまり堂々とは言えないし、父親が話題の会話からは逃げてしまっています。それは私が心の中で母子家庭が普通ではないと思ってしまっているからかもしれません。でも、それはとてもおかしいことだと思います。両親がそろっているか、そろっていないかで誰かが気まずさを感じるのも会話に入れなくなるのもおかしい話なのです。

★ 部活動や学校外活動 バスケットボール部

★ 好きな科目 理科・数学

★ 好きなことや好きなもの バスケ・睡眠

★ 将来の夢 看護師

私がみなさんに伝えたいことは、勝手に作られたイメージや普通に囚われないでほしいということです。みなさんにも勝手なイメージや決めつけのせいで傷ついたことや嫌な気持ちになったことがあると思います。私は、自分自身が傷ついたことのある「母子家庭」への決めつけを議題にしましたが、それ以外にも性別や肌の色についてなどたくさんのことがあると思います。そういうイメージや決めつけで相手を傷つけるのではなく、自分が知っていることや見たこと、感じたことを信じていてほしいと思います。みんながそうしていけば、いつかは間違ったイメージや決めつけ、差別なども無くなっていくのではないのでしょうか。





優良賞 私を動かす大切な言葉

名張市立名張中学校 3年

西岡 花佳

「花佳は花佳のままでいい。」

これは、私が大好きな先生からもらった言葉です。

“私が、私のままでいい?”と聞かされた時は意味が分かりませんでした。当時の私は、自分に自信がなく、自分の良くないところばかりに注目したり、他の人と自分を比べたりしていました。なので、「私のままでいい」と言われても、どうしてなのかと思っていました。

そんなある日、私はアメリカに住む友人と話す機会がありました。友だちから、「花佳の黒髪は美しくて素敵!似合っていて羨ましい。」

と、声をかけられたのです。私はとても驚きました。私からすれば、アメリカ人の友だちのブロンドヘアがカッコよくて素敵だと思っていたからです。ブロンドヘアの友だちに私の黒髪を褒めてもらえるなんて思ってもいませんでした。驚いたと同時に、それ以上に嬉しい気持ちになりました。私は、自分の髪を大切にしている、日々の手入れも頑張っていたのでそれが認められたような気持ちにもなりました。その一言が、その後ずっと心に残りました。そして、「もしかしたら、私には自分で気が付いていない魅力が他にもあるのではないか?」と気が付くきっかけになりました。

その日以来、私は自分の髪に自信をもつことができるようになりました。すると、不思議なことに、髪の手入れがそれまでよりもっと楽しくなり、いろいろな髪型をしてはウキウキするようになりました。「あなたの髪って素敵」という心地良い声が今でも私の頭の中に残っているのです。

そんな出来事があってから、私は人の言うことを、それまでよりも少し素直に聞けるようになりました。それまでは、自分のことを褒めてくれる人がいても、自分の良さを認めようとしていなかったのです。よくよく聞いてみると、「花佳は器用だ」「自分の意見をもっていて、それが言える」「あなたの笑顔が好き」「考えていることが、こんなにも似ていて嬉しい」…そんな風に声をかけてもらえることがありました。

それまでに、「花佳ははっきりと物を言いすぎる」と言われたこともあったので、「自分の意見をもって」と褒められて戸惑いもありましたが、同じ私の部分でも良くも悪くも取ることができることに気がつきました。

私に対して、感じたことを言葉にして伝えてくれた周りの人には、感謝の気持ちでいっぱいです。伝えてもらったことで勇気もらい、人を通じて自分の良さに気がつくことができたからです。

時に「言葉」で傷つき、時に言葉から元気や希望が湧きます。自分につきささった言葉は良くも

★ 部活動や学校外活動	オーケストラ部・校内ヒューマンライツ
★ 好きな科目	家庭・保健
★ 好きなことや好きなもの	料理・製菓・乗馬・ヘアケア
★ 将来の夢	看護師

悪くも忘れることはありません。言葉を発した相手の声や表情までも思い出されることもあります。受け取った言葉を選べるのも自分だと思えます。傷ついた言葉は、より良い自分をつくる為にいかし、心地良い言葉を自分の中で残していくことにしました。

言葉には、発する人の考えや相手への思いが表れます。つまり、「花佳は、花佳のままがいい」には、「そのままのあなたが好きだよ。」という気持ちが含まれているのではないかと思います。誰かと比べなくても、「今の私がいい」そう思えるようになりました。

言葉が自分を変えたり、動かしたりすることを知り、自分の使う言葉にも気を付けることにしました。挫けそうな時には、「もう無理。」ではなく、「私なら大丈夫!」「頑張れ私!」…そんな言葉を口にしてみました。すると、なんだか前向きな気持ちになれるのです。

これからは自分に対してだけではなく、ポジティブな言葉を周りにも伝えていける私でもいたいです。「あたたかい言葉で世界をあふれさせたい。」そう思います。相手を思うあたたかい言葉が増えれば社会はもっともっと良くなっていくと思います。

「花佳は花佳のままがいい!」

つまり、私は私がいい!より良い自分になれる努力を惜しまず、そのままの自分を好きでいたいです。

先生、素敵な言葉をありがとうございます。





優良賞

「いい子だね」って言わないで

名張市立北中学校 3年

西口 真由季

「本当にいい子だね」「真面目だね」

小さい頃から何度も言われてきた。お手伝いをしたとき、テストで高得点をとったとき、何かを成し遂げたとき。この言葉は自分にとっていつしかプレッシャーになっていた。

中学二年の冬、あるオーディション番組に出会った。その番組では、周りや自分にNOを突きつけられてきた女性が集まり、自己肯定感の向上や成長をテーマとして、素敵なアーティストを目指すという番組だった。その番組のある審査にて既存のトラックに合わせて自分で考えた歌詞をのせるというものがあった。とある方の歌詞の中に『『いい子だね』いつも言われたよね、いい子にしてたのに結局なんともないよね』という歌詞があった。その方は完璧主義な性格だとおっしゃっていた。いい子だねといってもらえるように沢山努力してきたのだろう。でも結局何も手に入れることができなかったという鬱屈とした気持ちや、過去の辛い思いを歌詞にのせることで自己肯定をし、自分を主張していたのだと思う。自分はその一連の歌詞にグツときた。コメント欄を見ても共感している人が沢山いた。自分と同じような思いをする人が世の中にこんなにもいて、それを発信してくれる人がいるのだと安心した。

褒められること自体は自分にとって自信をつける糧となっていた。しかし、「いい子だね」と言われることだけは自分を高める自信に繋がらなかった。大まかに「いい子」とまとめられることで「いい子って何？」だったり「いい子になれるように頑張らないと」と突き放されたように感じた。小学生の頃から自分のした言動が心配で周りの反応を気にしていたと思う。

こんな経験をした自分にはできることが二つある。一つ目は「ありがとう」と伝えること。そして相手は何かを成し遂げたとき、大まかに褒めるのではなく、具体的にどのようなことを頑張ったから成功したんだと伝えることだ。自分は吹奏楽部に所属しており、副部長を務めているため、よく周りを見て行動している。あるとき、準備や片付けを積極的にしてくれる後輩を見たとき、つい、「あの子本当にいい子だよ。」と言ってしまった。本人は聞いていなかったが、もし聞いていて、自分のようにその一言で強いプレッシャーを抱いてしまっていたらと考えると、自分の中でダメなことをしたと思い、後悔心を抱いた。そこから自分は、「ありがとう」と一番に伝えること、褒めるときは「準備も片付けも積極的にしてくれて助かるよ。」と具体的に伝えるようにした。楽器の演奏面でもこのように大まかに言わないように意識している。ある曲のワンフレーズが吹けるようになったとき、「吹

★ 部活動や学校外活動	ウインドアンサンブル部（吹奏楽部）・新体操
★ 好きな科目	数学・音楽
★ 好きなことや好きなもの	音楽鑑賞・読書
★ 将来の夢	人の役に立つ仕事に就くこと

けるようになってよかったね。」ではなく、「こんなことを意識したからできるようになったんだと思うよ。これからも常に意識して一緒に頑張ろうね。」と具体的にできたことを伝えてあげるようにしている。

二つ目は人によって感じ方は違うことを忘れないことだ。自分のように「いい子だね」と言われてプレッシャーを感じて、自分の行動が心配になってしまう人も、逆に「いい子だね」と言われて自信につなげ、伸びる人も同じ世界で生活していて、共存すべきだということを忘れない。自分の経験だけで相手を決めつけ判断するのではなく、相手を知ろうとすること、理解することを大切にしよう。人と関わることでよりよい社会を作る第一歩になると考える。

それぞれ感じ方、捉え方が違うからこそ、人との関わりは難しい。でもみんな違うのだと理解して生きていきたい。もし誰かをたたえるのならば「いい人だね」「いい子だね」ではなく具体的に「頑張ったね」と言っていたきたい。





優良賞 「先入観による差別」

御浜町立御浜中学校 2年

南 凜

あなたの前にある人がいるとします。その人はフリフリのスカートがよく似合う人です。そんな人があなたにこのように話しかけました。

「わたしの夢はケーキ屋さんなの。」

さて、あなたはこのセリフをどんな声で再生しましたか。またあなたはこの人の性別は何だと思いましたか。私も含めて多くの人が、高くてかわいらしい声で再生し、女の子だと思ったことでしょう。しかし、この子の性別は男です。男だと思った方は正解です。ちなみに、この人は立派な成人男性です。小さな子供だと思った方も多いのではないのでしょうか。

このように私たちは、スカートと言えば女の子、ケーキ屋さんと言えば女の子、夢を語ると言えば子供、などという先入観をもっています。私が質問をしたのも、このような先入観があるからです。先入観があるということは悪いことではないと思います。しかし、その先入観をもって差別をすることはよくありません。相手が一体どのような人間なのかをよく理解して、個で考えることが大切なのです。

先入観をもった差別には、男女差別だけでなく、人種差別もあります。人種差別といってもあまりピンとこない人もいるかと思いますが、しかし、意外と身近なものです。

例えば、私たち日本人は中国に対して悪い印象をもっていることが日中共同世論調査により、うきぼりになっています。みなさんは、中国の物は良くない、品質が悪い、中国人は素行が悪い、品がない、なんて思っていないですか。私は、中国のある人が問題を起こしたニュースを見たとき、「やっぱり中国ってこんな人が多いんだな。」と思ったことがあります。しかし、それはその人に対するイメージであり、中国の人や物全てが悪いわけではありません。

このように、私たちはただ一つの情報だけで全てを決めつけてしまうことがあるのです。中国のことだけではありません。修学旅行先の宿泊ホテルで、ある学校の生徒一人が問題を起こせば、「あの学校は」問題を起こす、というように学校全体が悪いと思われてしまいます。これは、その国や組織の人々の性格をすべて認知することは難しいため、ただ一人の性格で全体を判断してしまうからだと考えます。これにより、私たちは、その国の人があんな問題を起こしたのだから、あの国は危ない、なんて先入観をもってしまうのです。そしてこのような先入観が度をこえてしまうと、先ほど述べたように人権差別が起きます。

少し前に、ロシアがウクライナに侵攻したことを理由に、ロシア人に対して嫌がらせや誹謗中傷

★ 部活動や学校外活動	ソフトテニス
★ 好きな科目	音楽
★ 好きなことや好きなもの	動物・ゲーム・漫画
★ 将来の夢	獣医師

などの差別が多発し、問題となっていました。人種差別以外にも、いじめや障がいをもつ人に対する差別など、先入観による差別はたくさんあります。このような差別をなくすにはどうしたら良いのでしょうか。

先入観による差別をなくすためには、全体ではなく、個で考えるということがとても大切です。ある人が悪いことをしたからといって、その人の国の全てが悪い、と判断するのではなく、悪いのは誰なのか、何なのかと考えるのです。また、「男は」「女は」というような大きな主語で話すことを避けて、誤解されないようにすることも大切です。人を判断するときは、悪い所ばかりではなく、良い所もしっかりとみることも重要です。相手も自分も、良い所と悪い所では、悪い所の方がどうしても印象が強くなってしまいます。そのため、些細なことでも人の良い所に目を向けたり、自分が良いことをしたり、と積み重ねを意識してみてもいいのではないでしょうか。

このように、先入観による差別に対して私が考えた解決策は、個で考えることと、良い所に目を向ける、の二点です。ただ、これだけで差別がなくなるはずはありません。良い解決方法は他にもたくさんあると思います。みなさんで、差別がなくなる方法を、みんなが悲しい思いをしない方法を考えませんか。



審査委員の講評 (順不同・敬称略)

【審査委員長】長島 りょうがん (公益財団法人三重子どもわかもの育成財団 理事)



「想いのカタチ」

一人ひとりの想いをメッセージというカタチで、一生懸命伝えてくれたこと…会場すべてのみなさんの心をゆすりました。

優しい想いやあたたかい心や人を想うココロ、それは形に見えない…それを言葉や行動にうつすことで、相手に伝わり理解しあい、そこに、愛が育まれるそんな気がします。

だれもが持っているこのカタチにみえない想いを今日は、みなさんがメッセージにして、わたしたちに届けてくれたこと、心から感謝します。

そして、それを支えてくれた、家族、先生方、応援してくれた方々、なにより大会を支えてくれたスタッフの皆さんにも感謝します。

コロナ禍のなか、一人ひとりが孤立しそうなときでした。

津市にある白塚駅から津駅まで、朝、私は、近鉄電車にのっていました。

けっこう混んでいて、ウィルスを気にしながら、こんなときは、仕方がない…そう思っていた満員電車の中の時でした。

江戸橋の手前で学生が、立っていた年配の女性に、「すぐに降りますので、この席にどうぞ!」とやさしい笑顔で席を譲りました。

電車は江戸橋駅に。江戸橋駅の改札は一つだけの方向しかありません。

ホームに出た学生は、その改札のほうに向かわず、逆の方向に小走りで後ろの車両の扉から、気づかれないように同じ列車の車内へ駆け込みました。

女性に気を使わせまいとした、小さな、優しい学生の「うそ」でした。

そして、それがこの学生の「想い」がカタチにした時でした。

誰もが、心がおれそうで、まわりが信用できないような社会になりつつある今、そんな時に、自分の心がやさしさに包まれた、そんな瞬間でした。

感じたら動けるか…「感動」という言葉はここから来たかもしれません。

学生の行動が、私には、感動としあわせに変わった瞬間でした。

『心』は誰にも見えないけれど、『こころづかい』は見える。

『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。

その気持ちをカタチに…

宮澤章二 「行為の意味・青春期のきみたちに」より

今、自分たちができること…「想いをカタチ」に…

それが、発表者のみなさんのように、一人ひとりができたら、明るい未来がまた輝き出すと思うのです…「想いのカタチ」をしっかりと受け止めさせてもらったそんな感動の「中学生のメッセージ2025」大会でした。

万謝

【審査委員】坂口 喜久夫（朝日町教育委員会 教育長）



今回の14名の主張はどれも、中学生ならではの鋭い感性と純粋で素直な心から発せられるメッセージで、大きく心を動かされる日となりました。皆さんが、感じたこと、悩み考え抜いたこと、未来の展望を、自分の言葉で表現されたそれぞれの言葉は、大人の私たちも考えさせられることが多くありました。様々な経験と自問自答の中で、成長している姿を見ることができて、何より嬉しい時間でした。そんな中学生が持っている深い思いに、とても優劣はつけられません。ただ、審査委員としては、どれだけそうした思いを伝えられたか、ということで判断するしかありませんでした。全員に特別の賞をお贈りしたい思いでしたが、それはかなわないので、かわりにこの場をかりて、「ありがとう」の言葉を一人一人にお贈りしたいと思います。



【審査委員】市森 幸子（三重県小中学校長会 副会長〈四日市市立塩浜中学校 校長〉）



14名のみなさん、素晴らしいメッセージをありがとうございました。一人ひとりが自分の体験をもとに、身近なテーマを丁寧に掘り下げ、堂々と発表する姿に心を動かされました。語り口や視点にはそれぞれの個性があふれ、心に残る言葉の力を感じさせるものでした。そして、令和の今を生きる中学生ならではの視点が随所に盛り込まれ、どの発表にも、自分自身と向き合い、社会を見つめるまっすぐな気持ちが表れていました。仲間の発表に耳を傾ける中で、新たな気づきが芽生え、自分の感じ方や考え方に深みと広がり加わったことでしょう。さらに、中学生運営スタッフの皆さんは、役割を果たすだけでなく、会の雰囲気をも温かく支えてくれました。

この経験が、皆さんの未来を切り拓く力となることを願っています。

最後に、本大会の開催にご尽力いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。



【審査委員】松田 勉（三重県PTA連合会 元常務理事）



14名の皆さん、お疲れ様でした。皆さんの主張はどれも説得力のある素晴らしいものばかりで沢山の刺激を受け、私自身も自分と向き合うきっかけとなりました。

中学生にとって自分の経験から得たこと、社会の出来事から考えたこと、これらを言語化することは決して簡単なことではありません。そんな中、勇気を持って主張してくれた皆さんのこの出来事はきっと生涯の自信にも繋がると思います。これから進学、就職とそれぞれの道に進んでいくにつれ今以上に大きな壁にぶつかることもあるかもしれません。そんな時こそ、どうか自分の想いを自分の言葉で綴ることを大切にして欲しいです。ありのままの自分を主張することが出来ればその想いは必ず誰かの元に届き、きっと乗り越えられるはずです。次世代を担っていく皆さんが“自分らしく”輝ける未来であることを願っています。



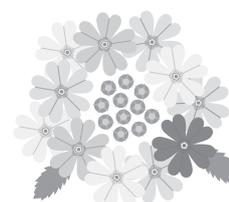
【審査委員】後藤 美香（三重県私学協会〈四日市メリノール学院中学校・高等学校 教頭〉）



今回、審査委員として参加させていただき、発表者として舞台に立たれた14名のみなさんの立派な姿と思いのこもったメッセージに大変感銘を受けました。

昨今はSNSでメッセージを発信することが盛んに行われていますが、多感な時期の中学生のみなさんが、自身の経験や社会で起こっている出来事についてまじめに考え、その思いを直接生の声で聞くことができ、とても心が動かされました。楽しいことよりも、むしろ困難なことやつらいことに真摯に向き合い、それを乗り越えようとする頑張りや自分はどうすべきなのか真剣に考えたことが力強く伝わってきました。

今回の14名の発表者をはじめ、県内から多くの中学生のメッセージが寄せられました。みなさんがその真剣な思いを大切にして、これからも活躍して下さることを願っています。



【審査委員】 本田 実 （三重県教職員組合 中央執行副委員長）



本日は素晴らしい発表をありがとうございました。皆さん一人ひとりの言葉には、感じたこと、悩んだこと、学んだこと、そして未来への決意や思いが込められていました。その真っ直ぐな声に、わたしたちも心を動かされました。社会の課題に目を向け、「自分にできること」を模索する姿、身近な人たちとのかかわりの中で「命の尊さ」や「支えあい」について思いを語る姿、それぞれが大変印象的でした。そして、どの主張にも共通していたのは、「自らの思いを込めた力強さ」でした。未来を担う皆さんが、こんなにも深く物事を考え、行動しようとしていることに、大きな希望を感じています。どうかこれからも、自分の思いを大切に、今日の経験を糧に、それぞれの未来へと羽ばたいていてください。本当にありがとうございました。



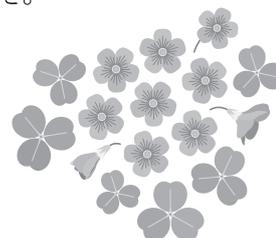
【審査委員】 高山 功太 （三重県子ども・福祉部 次長）



14名の受賞者の皆さん、自分の意見をメッセージとしてまとめ、それを多くの人前で発表することを見事にやり遂げました。思いが伝わるようにメッセージの表現を何度も練り直したり、発表の練習を重ねた姿が想像され、その努力は本当に素晴らしいことだと思います。

皆さんの作品からは、身近な生活や経験を通じて感じた気持ちや思いのほか、発見した課題に対する深い考えや独自の視点が見受けられました。若い皆さんが疑問や悩みに真剣に向き合う姿に心を揺さぶられ、とても感動しました。

自分の意見を主張することは、社会でのコミュニケーションやリーダーシップに不可欠です。これからも今回の経験を生かし、堂々と意見を発信し、社会をより良くしていくために活躍してほしいと期待しています。心に残るメッセージをありがとうございました。



ご協力いただいた審査委員の皆さま

【審査委員長】	長島りょうがん	公益財団法人三重こどもわかもの育成財団	理事
【審査委員】	間野 丈夫	三重テレビ放送株式会社	常務取締役
	北口 幸弘	菰野町教育委員会	教育長
	坂口喜久夫	朝日町教育委員会	教育長
	市森 幸子	三重県小中学校長会	副会長(四日市市立塩浜中学校 校長)
	松田 勉	三重県PTA連合会	元常務理事
	後藤 美香	三重県私学協会(四日市メリノール学院中学校・高等学校)	教頭
	本田 実	三重県教職員組合	中央執行副委員長
	高山 功太	三重県子ども・福祉部	次長



大会概要

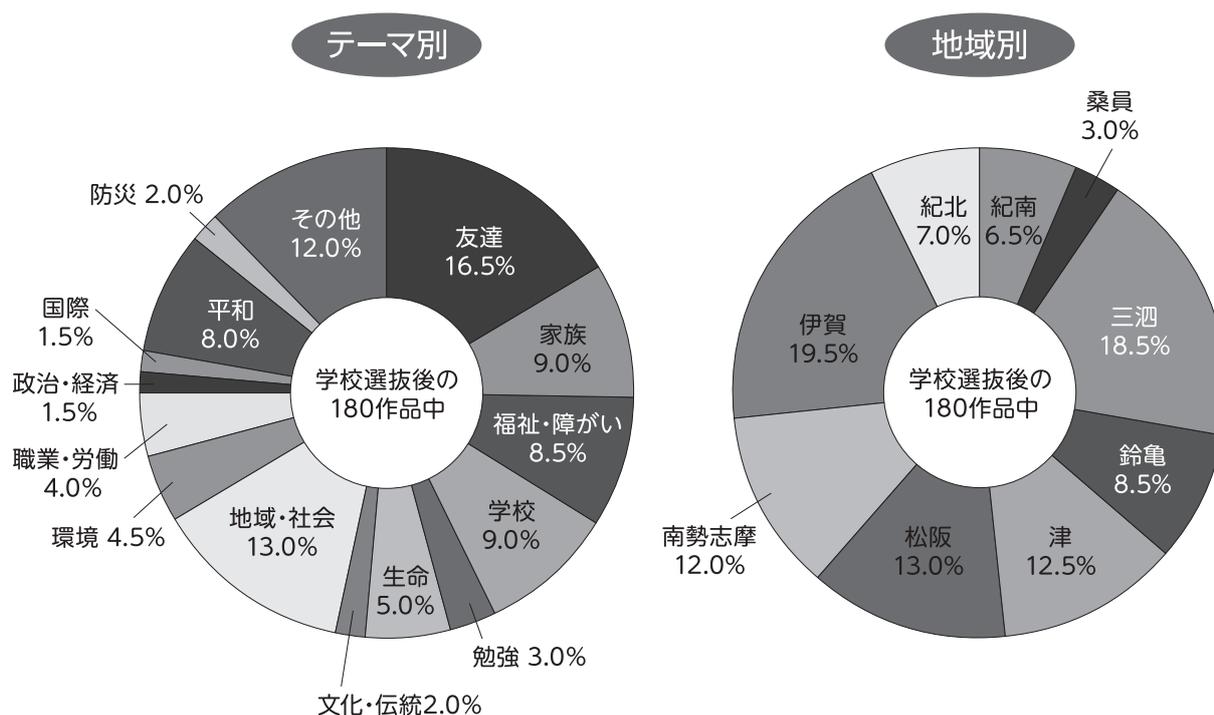
1 応募の状況

(1) 応募者数

地区名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
北勢	3,923	2,648	1,604	2,762	2,420	4,021
津	964	1,289	256	786	1,109	982
松阪	671	1,885	569	718	1,164	1,691
南勢志摩	101	86	75	61	238	1,108
伊賀	3,749	3,678	3,790	3,369	3,526	3,499
紀北	217	258	242	247	298	222
紀南	149	337	324	248	460	227
計	9,774	10,181	6,860	8,191	9,215	11,750

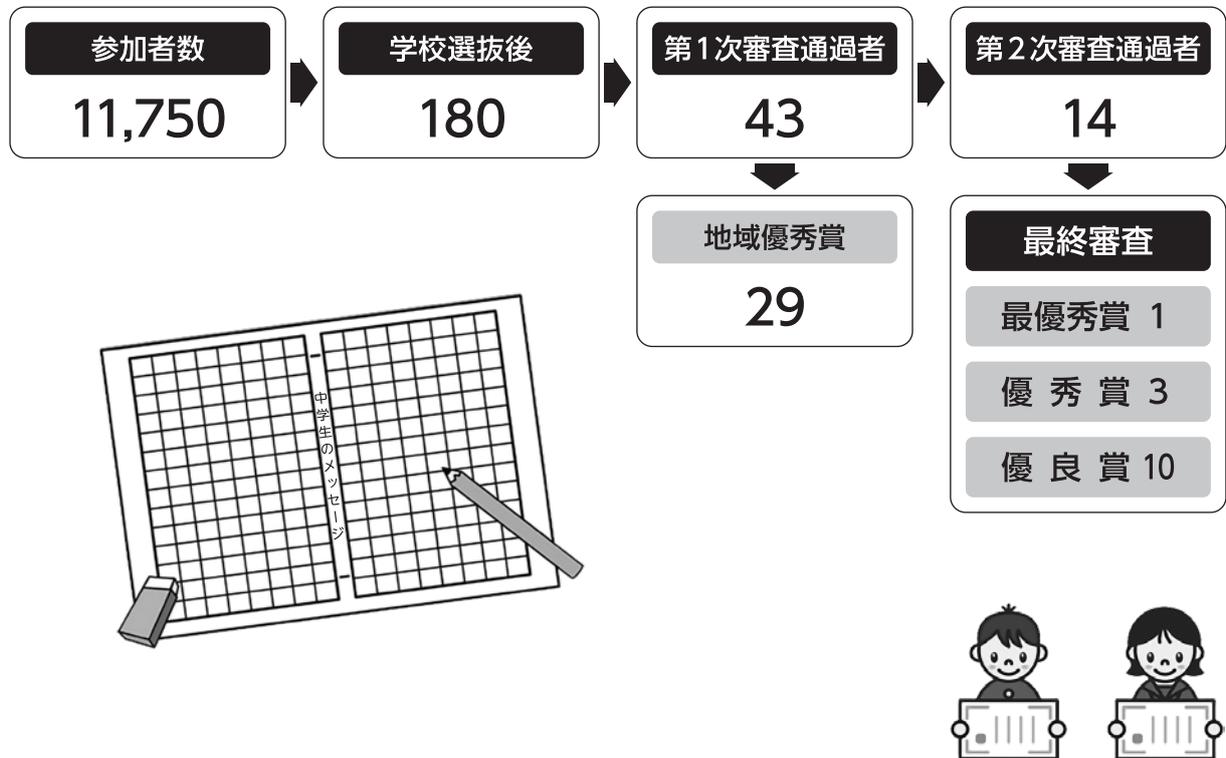
応募作品のテーマ・地域別の内訳

応募点数 11,750 の内、学校における選抜を受けて当財団に提出された 180 作品の内訳です。

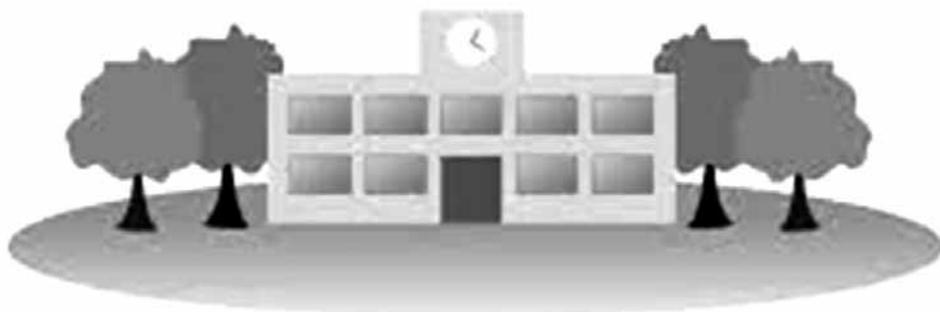


(2) 選考の過程

① 県大会

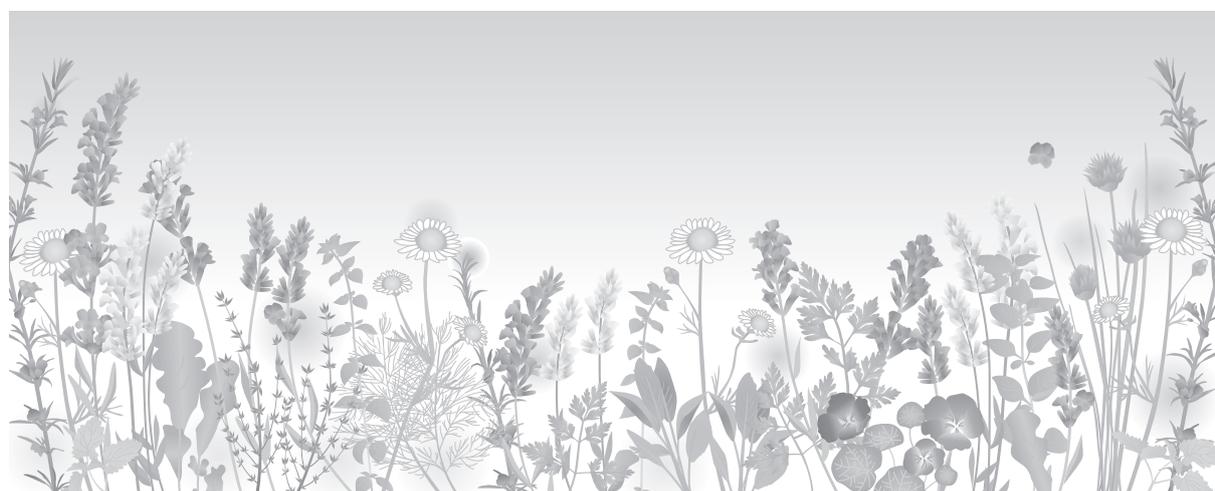


② 全国大会

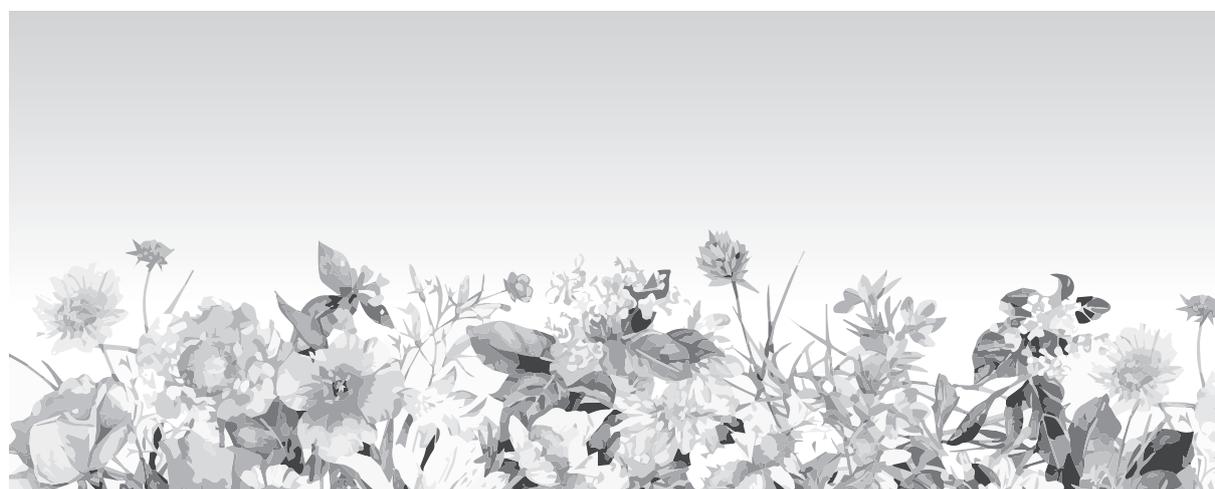


2 地域優秀賞受賞者一覧

No.	学 校 名	学年	名 前	タ イ ト ル
1	四日市市立朝明中学校	3	中山 胡葉	安全～命を守るため～
2	菰野町立菰野中学校	2	佐藤 愛夏	障害者手帳について思うこと
3	菰野町立菰野中学校	3	横山 心尊	紙ストローって本当に必要？
4	朝日町立朝日中学校	3	小井 菜月	世界中に平和あれ！
5	川越町立川越中学校	3	稲垣 美海	「友達と関わるために」
6	鈴鹿市立白子中学校	3	河上 菜桜	私の将来の夢は……
7	鈴鹿市立創徳中学校	3	樋口 陽菜	多様性を履き違えるな
8	亀山市立中部中学校	3	山田 倫太郎	山田レストラン
9	津市立橋南中学校	3	服部 漣人	「認める気持ち」
10	津市立香海中学校	2	市川 蘭奈	対策、意識で命を守る
11	津市立美杉中学校	3	高岡 辰斗	バリアフリー
12	セントヨゼフ女子学園中学校	3	飯田 くるみ	人類みんなを笑顔に
13	松阪市立鎌田中学校	3	中村 晴陽	温かいご飯
14	多気町立勢和中学校	1	内山 蒼人	いじめについて
15	多気町松阪市学校組合立 多気中学校	2	長谷川 柚月	「普通」って何だろう？



No.	学 校 名	学年	名 前	タ イ ト ル
16	伊勢市立二見中学校	2	藪木 菜結	身近な障がい者
17	伊勢市立二見中学校	3	安田 紗奈葉	優生保護法について
18	度会町立度会中学校	3	森 沙耶	私の身近な人たちへ
19	南伊勢町立南勢中学校	3	瀬川 志乃	差別と先入観
20	伊賀市立柘植中学校	3	西田 幸平	「おもいやり駐車場について考えたこと」
21	伊賀市立青山中学校	1	藤本 珊花	チョコレートが笑顔を作る
22	名張市立名張中学校	1	鐘ヶ江 龍琥	人がつなげる平和
23	名張市立桔梗が丘中学校	1	萩森 結菜	「ありがとう」の大切さ
24	名張市立桔梗が丘中学校	3	中井 奏那	スマートフォンの危険性
25	紀北町立赤羽中学校	1	武岡 美里	バナナはおやつに入りますか？
26	紀北町立赤羽中学校	3	片岡 貫太	東京の長所、地方の長所
27	紀北町立潮南中学校	3	海上 優	「多様性」の現状
28	熊野市立飛鳥中学校	2	山本 莉央奈	お誕生日おめでとう
29	御浜町立尾呂志学園中学校	3	中谷 ひまり	「私達にできること」



3 学校奨励賞受賞校一覧

No.	学 校 名	No.	学 校 名
1	木曾岬町立木曾岬中学校	22	南伊勢町立南勢中学校
2	四日市市立山手中学校	23	伊賀市立崇広中学校
3	四日市市立富洲原中学校	24	伊賀市立緑ヶ丘中学校
4	四日市市立西笹川中学校	25	伊賀市立城東中学校
5	四日市市立三重平中学校	26	伊賀市立上野南中学校
6	四日市市立西朝明中学校	27	伊賀市立靈峰中学校
7	菰野町立菰野中学校	28	伊賀市立島ヶ原中学校
8	菰野町立八風中学校	29	伊賀市立阿山中学校
9	川越町立川越中学校	30	伊賀市立大山田中学校
10	鈴鹿中等教育学校	31	伊賀市立青山中学校
11	津市立橋南中学校	32	名張市立名張中学校
12	津市立香海中学校	33	名張市立赤目中学校
13	津市立白山中学校	34	名張市立桔梗が丘中学校
14	松阪市立殿町中学校	35	名張市立南中学校
15	多気町立勢和中学校	36	尾鷲市立輪内中学校
16	多気町松阪市学校組合立多気中学校	37	紀北町立赤羽中学校
17	明和町立明和中学校	38	紀北町立三船中学校
18	伊勢市立二見中学校	39	熊野市立新鹿中学校
19	伊勢市立小俣中学校	40	熊野市立飛鳥中学校
20	伊勢市立御菌中学校	41	御浜町立御浜中学校
21	皇學館中学校	42	御浜町立尾呂志学園中学校

※学校奨励賞は、積極的に応募に取り組んでいただいた学校（全校生徒の50%以上）が受賞されました。

4 デザイン画受賞者一覧

賞	学校名	学年	名前	タイトル
最優秀賞	朝日町立朝日中学校	3	廣谷 咲那	羽ばたけ！個性！
優秀賞	川越町立川越中学校	2	戸田 真鈴	1人じゃない
優秀賞	川越町立川越中学校	3	稲垣 美海	上を向いて
優秀賞	川越町立川越中学校	3	高柳 葵	雨あがりの帰路



デザイン画審査会で入賞作品を選出



デザイン画最優秀賞決定！

大会メモリアル

川越町あいあいホール 2025.8.23

当日の大会会場



10:00 協力中学生・実行委員会が集合!



10:15 運営協力中学生全員集合



運営協力中学生による受付



運営協力中学生による案内



中学生の
コメント

臨機応変に対応するのが大変でしたが、
貴重な体験をありがとうございました。

中学生の
コメント

受付をしていて「ありがとう」などの声を
かけてもらって、やりがいを感じました。

11:00 発表者が事前説明を聞きました!



13:00 開会

運営協力中学生による司会

主催者代表からの大会挨拶

川越町長からの歓迎挨拶



中学生の
コメント

少し緊張していましたが、周りの方のおかげで精一杯がんばりました。

13:15

いよいよ
14人の主張発表が
始まりました!!

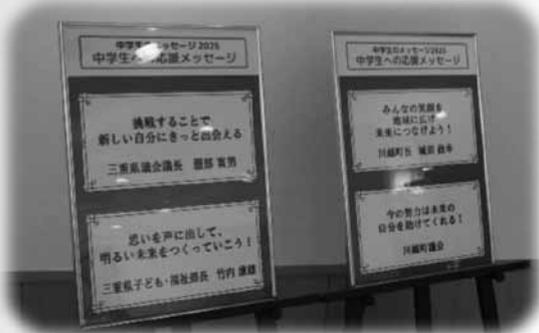


14:55 実践発表が始まりました！ (合唱)



四日市市立羽津中学校
音楽部

大人からの応援メッセージ展

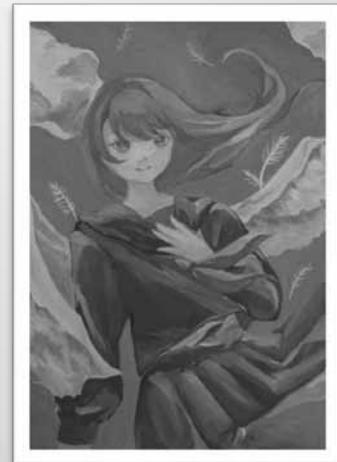


開催地である川越町長をはじめ、各地の協賛企業・団体様から応援メッセージをいただきました。

地元三四地区の中学生による デザイン画展



デザイン画最優秀賞 「羽ばたけ！個性！」
朝日町立朝日中学校 3年 廣谷 咲那 さんの作品が
プログラムの表紙を飾りました！



応募総数44点の中から選ばれた入賞作品4点+優秀作品13点を展示

14:55 厳正なる審査中



15:35 表彰式 おめでとうございます!



15:40 長島審査委員長による講評



15:50 運営協力中学生の皆さんへ



受賞者のコメント

最優秀賞を受賞すると思わなかったので驚きました。緊張しましたが、自分の発表を皆さんに伝えることができよかったです。自分の悲しかったこと、つらかったことを様々な人に伝えることで同じように悩んでいる人の力になればと思います。

(名張市立桔梗が丘中学校 2年 竹下 葵さん)



16:15 閉会 記念写真



【司会・受付・案内・表彰アシスタント】
川越町立川越中学校・菰野町立菰野中学校
菰野町立八風中学校・朝日町立朝日中学校

【実践発表】
四日市市立羽津中学校 音楽部 (合唱)

【デザイン画最優秀賞】
朝日町立朝日中学校 3年 廣谷 咲那さん

【デザイン画協力中学校】
菰野町立菰野中学校・菰野町立八風中学校
朝日町立朝日中学校・川越町立川越中学校

来年度は、南勢志摩地区(伊勢市)で開催予定!!

中学生への応援メッセージ

中学生へ三重県議会議長、川越町長、川越町議会、三重県子ども・福祉部長、協賛企業・団体様からあたたかい応援メッセージをいただきました。

挑戦することで
新しい自分にきっと出会える

三重県議会議長 服部 富男

みんなの笑顔を
地域に広げ
未来につなげよう！

川越町長 城田 政幸

今の努力は未来の
自分を助けてくれる！

川越町議会

思いを声に出して、
明るい未来をつくっていこう！

三重県子ども・福祉部長
竹内 康雄

今のがんばりが、
明日の自信になる！

株式会社 アーステックTAGAWA
代表取締役 田川 永都

言葉でつながる
未来への架け橋

朝明商工会
会長 葛山 博之

絆！！

伊井運輸 株式会社
代表取締役 伊井 雅春

感謝の気持ちを忘れず
夢に向かって羽ばたこう

伊賀ふるさと農業協同組合

ダメでいい
成長は止まらない

イセット 株式会社
代表取締役社長 伊藤 拓真

みなさんの実りある
未来を応援します

伊勢農業協同組合

恐れるな！
未来は君たちの心の中にある！

イナガキ産業 株式会社
代表取締役 稲垣 伸亮

Challenge!

EIGHT CONSULTING
代表 加藤 ひろ美

失敗しても大丈夫。
失敗は未来の糧になる。
たくさんチャレンジしてみよう！

株式会社 エコムクリエーション
代表取締役 北住 尚己

君の“好き”を大切に
ありのままにいたい
大丈夫きつとすべてはうまくいく！

有限会社 エム.エム.ディ
代表取締役 水谷 常弘

口に+(プラス)と書いて「叶」です。
好きだけプラスを表現して、
望み通りの人生を歩んでください！

株式会社 オールラウンドプロデュース
代表取締役 川村 洋輝

どの道も
熟慮したなら 君の道

有限会社 岡井博進堂
代表取締役 岡井 良樹

花よりも
花を咲かせる土となれ

岡三証券 株式会社
津支店長 稲垣 有治

今のあなたが未来を創る
踏み出そう！夢への1歩を！

株式会社 かじり
代表取締役社長 佐々木 薫子

可能性は無限大
自分を信じて羽ばたこう！

紙小津産業 株式会社

可能性は無限大!!
なんでも挑戦しよう!!

紀北信用金庫

挑戦することで
成長する機会を得ることができる

株式会社 ぎゅーとら
代表取締役社長 清水 秀隆

Also
challenge
everything!

グッディ(株式会社 玉城)
代表取締役社長 早川 賢

夢に向かって日々努力
自分を信じて

桑名三重信用金庫
理事長 平塚 信行

人生は一度きり
夢に向かってひたむきに挑め！

特定非営利活動法人 元気アップこどものスポーツクラブ
理事長 横井 一弘

浮世渡らば豆腐で渡れ

コスモスベリーズ 松阪店

夢と希望を持って羽ばたこう!!
未来はすぐそこにある!!

菰野町商工会
会長 辻 伴壽

夢を持とう!
あなたの夢をサポートします!

株式会社 三十三銀行

生きているうちが花なんだぜ!

株式会社 松栄
代表取締役 兼子 久寛

その思いを実現できる場所が
必ず見つかる。

株式会社 JERA
川越火力発電所長 勝谷 元揮

Let's cherish
this moment now

Seko food
CEO Morinobu Seko

育てたい夢
応援します!!

多気郡農業協同組合
代表理事組合長 西井 正

友よ羽ばたけ
大地をシッカリ踏み締めて
夢を持ち、希望を持ち
命を大切に、人を大切に!

竹輝銅庵 JSJT.CO.,LTD.
館長 竹本 博志

夢を追いかけて 挑戦を恐れず
自分の未来を切り開こう！

株式会社 中部プラントサービス

努力は決して裏切らない

株式会社 司
代表取締役 松村 亜矢子

一人ひとりの努力！
ろうきんは応援します！！

東海労働金庫

動き出そう！
動けば答えはみえてくる。

東邦液化ガス 株式会社 三重支店

無理せず自分らしく
失敗しても、それは成長のチャンス

東洋電機 株式会社

あなたの声は
あなただけの言葉

有限会社 トータルインテリアアグチ
代表取締役社長 田口 秀明

やればできる

株式会社 内藤
代表取締役 内藤 秀一

未来は君たちの手の中にある！
輝け！

日軽メタル 株式会社 川越工場
工場長 野田 勝美

すばらしい変化のそばに。

野村證券 株式会社 津支店

頑張っている君の姿を
必ず誰かが見てくれるはず

パイロットインキ 株式会社
津工場長 服部 哲也

チャンスは
準備した人に訪れる

株式会社 日之出

同じ未来と一緒に
見つめていきましょう！

株式会社 百五銀行

私も中学生の時
少年の主張三重県大会で
発表しました！

藤原工業 株式会社
専務取締役 藤原 和典

夢を見るから
人生は輝く！！

有限会社 プラスサポート

明るい未来は、
"今"が作る

保険企画サポート24

地域をあげて
皆さんを応援しています。
迷わず Do your best!

松岡建設 株式会社
代表取締役社長 松岡 伸年

Do your best !!

株式会社 松阪電子計算センター
代表取締役 瀬野 喜久

君たちの笑顔がみんなの力。
一緒に、みんなを笑顔にしよう。

三重北農業協同組合

人に寄り添う心と身体を
持てる人になってください。

三重郡更生保護女性の会
会長 鈴木 明美

今日の一步が、夢への一步

公益社団法人 三重県医師会

何にでも チャレンジ！
未来が開く その言葉

特定非営利活動法人 三重県歯科衛生士会

君の今日が未来を変える！

三重県信用農業協同組合連合会
代表理事 理事長 内藤 真毅

健やかに伸び伸びと進め！
君たちの未来を応援します。

一般社団法人 三重県薬剤師会

一人ひとりの色で
未来を作ろう！

三重交通 株式会社

今の努力が
未来の自分をつくる！！

三重コンックス 株式会社
代表取締役 吉田 治伸

人を愛し、
愛される人になりましょう

三重保護司会
会長 千種 錦

前へ前へ！進む勇気が
あなたを強くする

南建設 有限会社
代表取締役 南 国広

一瞬一瞬を大切に！

ミライスホールディングス 株式会社
代表取締役 松岡 賢

人事を尽くして
天命を待て！

有限会社 山室石油
代表取締役社長 山本 清

好きな物を
とことん突きつめて！！
道は開ける！！！！

有限会社 豊商會
代表取締役 水谷 謙

若さを活かに
チャレンジあるのみ！

株式会社 養三
代表取締役社長 駒田 昌彦

冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ
ファイト！

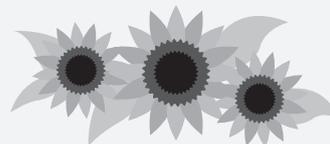
養三興業 株式会社
代表取締役 駒田 久人

挑戦なくば 前進なし

社会福祉法人 よつば会
理事長 石川 英樹

明るく 元気に
前向きに

株式会社 リンクフジカワ
代表取締役 藤川 立也



敬称略、五十音順

協賛企業・団体紹介

株式会社アーステック TAGAWA

 株式会社 暁興産

 朝明商工会

株式会社朝日電機工作所

 伊井運輸株式会社

 JAいがふるさと

 石川商事株式会社

 ISET

 JA伊勢

 イナガキ産業株式会社

 EIGHT
CONSULTING

 エコアクション

 M.M.D

有限会社エム・エム・ディ

 大川運輸倉庫株式会社

株式会社オールラウンドプロデュース

 OKAI (有) 岡井博進堂

 岡三証券
OKASAN SECURITIES

株式会社かじり

 紙小津産業株式会社

株式会社川越電気

 紀北信用金庫

 ふれあい・たいせつに
きゅうとら

 グッデイ
GOODAY

 桑名三重信用金庫

 桑名三重スポーツクラブ
元気アップこものスポーツクラブ

株式会社光和電機製作所

 Berry's
コスメスペース

 菰野町商工会

 こんまりメソッドジャパン三重

 三十三銀行

株式会社 松 栄

 Jera
エネルギーを新しい時代へ

SINCE 1948 GREEN GARDEN
 SUIHO-EN

有限会社せいほう自動車

 Dream Ocean

 育てたい夢、応援します
JA多気郡

 情報スタジオJT

 中部プラントサービス

 TSUKASA 株式会社 司

 働くあなたと、ともに 東海ろうきん	登記・測量山田事務所	東邦液化ガス株式会社
 東洋電機株式会社	有限会社トータルインテリアタグチ	 株式会社 内外製粉
株式会社内藤	日軽メタル株式会社	NOMURA 野村證券
 PILOT	 合資会社 早川酒造部	株式会社日之出
 百五銀行 FRONTIER BANKING	株式会社ふくた	 藤原工業株式会社
 有限会社 プラスサポート	 SUPPORT 保険企画サポート24	株式会社 まさ しょう 雅 匠
 松岡建設株式会社	 松輝製網	 株式会社 松阪電子計算センター
 JAみえきた	三重県更生保護女性の会	(公社)三重県医師会
 公益社団法人 三重県歯科医師会	 特定非営利活動法人 三重県歯科衛生士会	 JAバンク三重
 (一社)三重県薬剤師会	 三重交通	 コニックス株式会社
三重保護司会	株式会社ミツボシ	南建設有限会社
 ミライリスホールディングス	 MORIOKA INDUSTRY CO., LTD. 森岡産業株式会社	(有)山室石油
 有限会社豊商会	 (株)養三	 総合建設業 養三興業株式会社
YPC 四日市梱包株式会社	社会福祉法人 よつば会 	株式会社リンクフジカワ

本大会の開催にあたり、ご協賛いただきありがとうございました。

参考資料 1

中学生のメッセージ2025 (第47回少年の主張三重県大会) 作文募集要項

1 目 的

「中学生のメッセージ」は、中学生が日頃感じていることや考えていることを広く県民に訴えることにより、青少年が自分の生き方や社会との関わりを考え、また、青少年に対する県民の理解・関心を深めることを目的として作文を募集します。

2 「中学生のメッセージ2025」開催期日・場所

期 日 令和7年8月23日(土)

場 所 川越町あいあいホール 三重郡川越町大字豊田一色314

3 共 催

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

三泗地区中学生のメッセージ実行委員会

三重県・三重県青少年育成市町民会議連合会

独立行政法人国立青少年教育振興機構

4 協 力

三重県内青少年育成市町民会議

5 後 援

三重県教育委員会・四日市市教育委員会・菰野町教育委員会・朝日町教育委員会

川越町教育委員会・三重県私学協会・三重県小中学校長会・三重県PTA連合会

三重県教職員組合・NHK津放送局・三重テレビ放送株式会社・株式会社中日新聞社

6 応募について

(1) 応募資格

県内の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にある方。

※国籍は問わないが、日本語で発表できること。また、令和6年度在籍の3年生は応募できません。

(2) 応募内容

① 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など

② 家庭、学校生活、社会(地域活動)及び身の回りや友だちとの関わりなど

③ テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

(3) 応募方法

① 1人1点とし、未発表のものに限ります。但し、募集に先立ち取り組まれた作品や青少年育成市町民会議(以下、市町民会議という)等が主催する同様の大会において発表された作品は提出できません。

② 原稿用紙の記入方法は以下のとおりです。

ア. A4版400字詰め原稿用紙〔別添(様式)〕3枚半以上4枚半以下で縦書きに清書してください。A4以外の原稿用紙や枚数不足、枚数超過については、審査対象外となります。

※大会での発表時間は4分半～5分半となります。

イ. 1行目に作文のタイトル、2行目に県名・学校名・学年、3行目に名前、4行目以降に本文を書いてください。但し、学校名等が長い場合はこの限りではありません。

ウ. 本人直筆による原本(パソコン入力不可・コピー不可・但し障がい等による場合は可)(以下同じ)を提出してください。

エ. 原稿用紙にはHB以上の鉛筆ではっきり濃く記入してください。(審査のとき、コピーをするため判読不明な場合は審査できませんので、濃さについては厳守してください。)

オ. 原稿は、ホチキス止めをせずクリップ等で止めてください。

※枚数厳守で お願いし ます 4 枚 半 以 下 ~ 3 枚 半 以 上	~	4 行 目 ~ 本 文	3 行 目 名 前	2 行 目 三 重 県 ○ ○ 立 ○ ○ 中 学 校 ○ 年	1 行 目 タ イ ト ル
-----------------------------------------------------------------------------------------	---	------------------------------------	---------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

③ 応募作品一覧(別紙1)には、作文の基調となっている最も適当なテーマ1つを下記より選び記入してください。

基調テーマ分類

「友達」、「家族」、「福祉・障がい」、「学校」、「勉強」、「生命」、「文化・伝統」、「地域・社会」、「環境」、「職業・労働」、「政治・経済」、「国際」、「平和」、「防災」、その他()

④ 各学校等において3点以内に選考し、応募作品一覧(別紙1)を添付のうえ、下記提出先に原本を提出してください。

(4) 提出先・提出期限

- ・各中学校等は、令和7年6月6日(金)までに当該地域の市町民会議等に原本を提出してください。市町民会議等は作品を取りまとめ、令和7年6月11日(水)までに公益財団法人三重子どもわかもの育成財団(以下、育成財団という)に原本を提出してください。
- ・市町民会議等の連絡先については、別紙2を参照してください。

(5) 審査基準

・論旨は以下のとおりです。

- ① 鋭い感性で、新鮮な主張であるか。(中学生らしさ)
- ② 新しい情報や視点があるか。
- ③ 個人の体験にとどまらず、一般性・社会性があるか。
- ④ 提案や提言を実現・実践する意欲が感じられるか。
- ⑤ 論旨が一貫し、構成がしっかりしているか。

(6) 入賞の選考

① 第1次審査会

第1次審査は育成財団にて行い、提出された作品の中から40人程度を選考します。

② 第2次審査会

第2次審査は学識経験者、青少年育成関係者、育成財団等で構成する第2次審査会において行い、最終審査会で発表する14人を選考します。14人の方への連絡は、7月上旬頃になります。決定後、やむを得ず出場できなくなった場合は、次点の方を繰り上げる場合もあります。なお、14人以外の作品は地域優秀賞とします。

7 中学生のメッセージ2025について

(1) 発表

・第2次審査会で選ばれた14人は、「中学生のメッセージ2025」において、発表します。なお、発表では、パフォーマンス(写真を使用したパネル説明や小道具を使用する等)を取り入れてもかまいません。その場合は、準備の関係がありますので、詳しくはお問い合わせください。

(2) 審査

・大会当日、学識経験者、教育関係者、報道関係者、青少年育成関係者、育成財団等で構成する最終審査会で審査を行い、各賞を決定します。

(3) 審査基準

・論旨は第1次審査会と第2次審査会と同じです。
・論調・態度は以下のとおりです。

- ① 共感と感銘を与えていたか。
- ② 説得力のある話だったか。
- ③ 熱意と迫力があつたか。
- ④ 落ち着いて話していたか。
- ⑤ 聴衆に感動を与えていたか。

(4) 表彰

- ① 「最優秀賞」(1人)、「優秀賞」(3人)、「優良賞」(10人)を決定し、賞状と副賞を贈呈します。
- ② 「地域優秀賞」には、賞状と副賞を贈呈します。
- ③ 積極的に応募に取り組んでいただいた学校(全校生徒数の50%以上とする)に「学校奨励賞」として、賞状と副賞を贈呈します。
- ④ 作品応募者全員に参加賞を贈呈します。

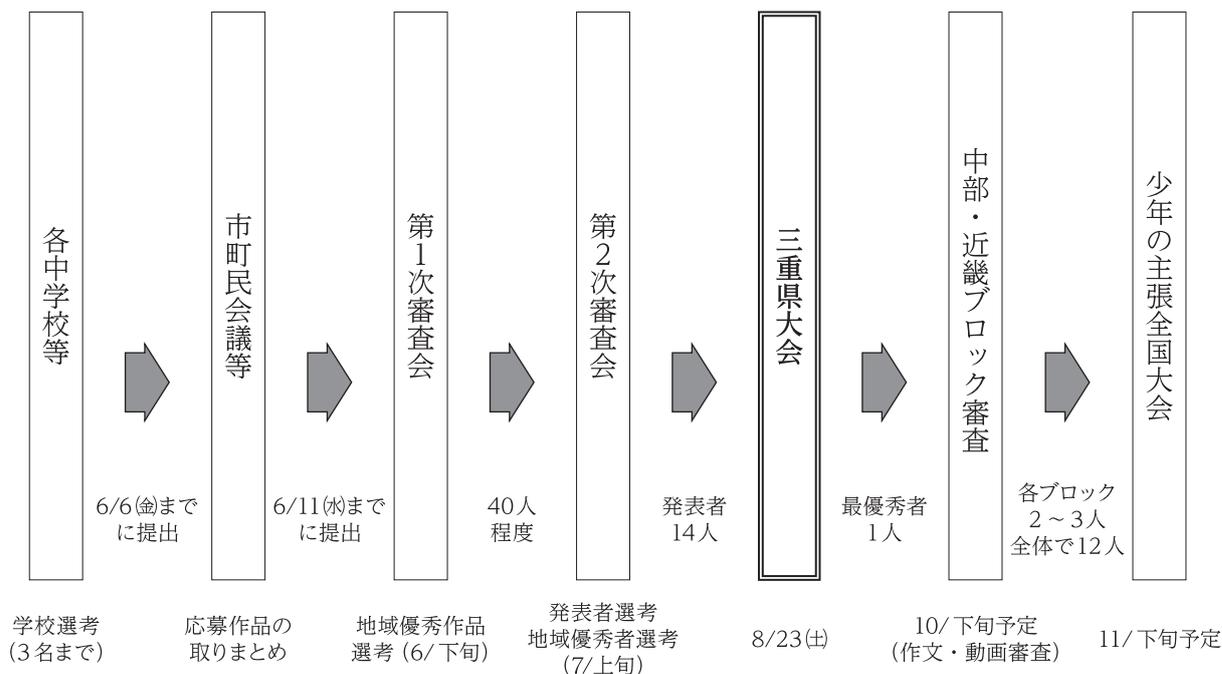
8 「少年の主張全国大会」への推薦

独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催する「少年の主張全国大会」の出場候補者として最優秀者を推薦します。中部・近畿ブロック審査(作文・動画審査)でブロック代表者(各ブロック2~3人)に選ばれた場合は、11月下旬頃に東京都で開催される「少年の主張全国大会」において発表します。

9 その他

- (1) 応募作品(原本)の返却はしないのでコピーをして保管してください。
- (2) 大会開催前、育成財団ホームページにおいて、発表者の紹介(学校名・学年・名前・タイトル)をしますのでご了承ください。また、大会後、結果を発表します。最優秀賞については、作品を掲載します。
- (3) 令和8年1月頃発表報告集を作成します。その中で掲載した作品及び写真については、ホームページ、広報誌等にも掲載することがありますのでご了承ください。

10 参考：応募から発表までの流れ



【お問い合わせ先】

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団
〒515-0054 松阪市立野町1291 中部台運動公園内
TEL: 0598-23-7735 FAX: 0598-23-7792
E-mail: ikusei@mie-cc.or.jp

伝える

鳥取県 鳥取市立桜ヶ丘中学校 3年

谷口 鉄馬

手を挙げた瞬間、みんなの息を吸う音が聞こえる。そして合唱が始まる。穏やかに始まった合唱が坂を登るように盛り上がっていく。僕はどんなふうに歌ってほしいかを、手で、そして全身で表現する。音楽が弾ける。僕が好きな瞬間のひとつだ。

僕は中学校で、合唱コンクールの指揮者を三度務めた。今年の曲は「心の瞳」。練習はまだ始まったばかりだ。

僕が指揮をするのは、口唇口蓋裂という病気の影響がある。僕の唇では、歌う時に上手に発音をすることができないが、指揮者なら、みんなの役に立つことができるからだ。

僕は生まれた時、唇と上の顎が裂けていた。このままでは、母親の乳を吸うことができずに死んでしまう。成長しても唇の隙間から息が漏れてうまく話すことができない。僕は、生まれてすぐに手術を行なった。

顎と唇の隙間は一応塞がったものの、鳥取の病院では、それ以上の対応はできなかった。両親が必死になって探した岡山の病院で、赤ちゃんの僕はまた手術を受けた。手術を何度も繰り返し、何年も通院を繰り返した。今でも年に一度、岡山に通っている。そのおかげで、今では食事を取ることもできるし、会話することもできるようになっている。

しかし、人と話す時に心に引っ掛かりがあるのも事実だ。発音がしにくいので、僕の言葉がどう受け止められているのか、相手の表情を気にしながら話すこともある。実際、何度も聞き返されることや、発音のことをからかわれることがあった。何度も聞き返される時は、相手に対して申し訳ない気持ちになる。からかわれた時は、馬鹿にされたことに苛立ちを覚える。何を言っても無駄だと感じて諦めるときがある。

小さい頃、口元にマスクをつけた僕のことを、見知らぬ女性が「かわいいねえ」と言った。しかし、マスクをとった僕の口元を見た女性は、僕のことを「かわいそうな子」と言ったそうだ。「かわいい」と「かわいそう」。わずかな違いかもしれない。けれど母にとっては大きな違いだった。「かわいそう」という言葉に、「不幸な子」という意味を感じたのかもしれない。母は「鉄馬は可哀想な子じゃない!」と強く言い返したという。

そんな母も、「こんな体で産んでしまっでごめんね」と口にしたことがある。そのとき

僕は「気にしてないし、大丈夫だで」としか返せなかったけれど、両親にとっても感謝しているのだ。この病気を治してくれるためにたくさんのことをしてもらった。歯の矯正をするにも、僕の場合は特別な処置が必要なので、岡山の歯科医に毎月通わせてもらっている。ほとんどの場合、父が送迎してくれる。こんなふうにお金も、時間も、愛情もたくさんかけてくれた。僕の唇は、その証だから。

そんな僕が、中学一年生で合唱の指揮者になった。未経験のこの役割に強くひかれ、すぐ立候補した。実際にやってみると、どうやったら歌い手に的確に伝わるか、手で伝える面白さを知った。自分なりに指揮をアレンジして、どの部分をどう歌ってほしいのか、楽しみながら伝えることで、今までにない達成感を得られた。正しい発音は一つだけど、人を感動させる音楽は無限にある。僕は、僕の指揮でそれを表現できることに、言いようのない喜びを覚えた。指揮することで表現できる世界の広さは、僕が歌うことで表現できる世界を大きく飛び越えていった。

口唇口蓋裂の子供たちは、話すこと、表現することを躊躇しがちだ。でも、自分のことを伝えたい、表現したいと強く思っている。諦めずに伝えてほしい。言葉でも、それ以外でも、自分を表現する方法は、きっとある。伝えたい思いを受け止めあえたら、病気や障害、色々な違いにかかわらず、お互いの世界はもっと広がるはずだ。

今年の合唱曲「心の瞳」はこう始まる。

「心の瞳で君を見つめれば、愛すること、それがどんなことだか、分かりかけてきた」

言葉で言えない胸の暖かさを、見つめ合うことで伝えるという詩だ。

伝わる。きっと伝わる。だから伝えることを諦めないでほしい。言葉でも、音楽でも、見つめ合うことでも、自分らしいやり方が、きっとあるはずだ。



中学生のメッセージ2025
(第47回少年の主張三重県大会)

発表報告集
令和8年1月

公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団
〒515-0054
三重県松阪市立野町1291 中部台運動公園内
TEL 0598-23-7735
FAX 0598-23-7792
E-mail ikusei@mie-cc.or.jp

中学生のメッセージ2025 デザイン画入賞作品介绍

地元三泗地区の中学生を対象にデザイン画を募集し、デザイン画展を開催しました。



デザイン画優秀賞：1人じゃない
川越町立川越中学校 2年 戸田 真鈴さん



大会当日の展示の様子

入賞
作品



デザイン画優秀賞：上を向いて
川越町立川越中学校 3年 稲垣 美海さん



デザイン画優秀賞：雨上がりの帰路
川越町立川越中学校 3年 高柳 葵さん